處女の友

2巻9号

第二巻 第十一月號

大正八年十一月一日發行(毎月一回一日發行)
大正七年十二月二十三日第三種郵便物認可

處女會中央部發行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

内務省囑託天野藤男著

賜天覽
賜台覽

六版

青年團及處女會

內容充實、趣味饒多
統計確實、識見卓拔

菊版四百七十頁
裝幀優美箱入
定價二圓五十錢
郵稅十二錢

特色

青年團體の組織內容美績から處女會の現狀將來に至るまで正確なる材料を豐富なる觀察に基き趣味深き筆を以て縱橫に描出せるもので、青年團處女會員は固より愛導者の一日も缺くべからざる座右の寶典である。

内務省囑託天野藤男著

十一版

親愛なる農村青年へ

四六版美本、二百頁
定價六拾錢、送料六錢

東京市本郷區元町　丙辰出版社　振替東京三三三〇〇番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

青年圖書

大久保洲四著

青年訓話

軍神乃木

著者の麗筆に依りて將軍の面目書中に躍出す

四六版三五〇頁
定價四拾錢
＝送料四錢＝

青年團員手牒

青年團員必携の信用狀▲總クロース和紙堅牢無比▲青年團中央部編纂
二冊定價拾錢＝送料三部迄貳錢

帝國青年の歌

豪壯の歌勇快の曲＝▲青年團中央部選▲島崎東京音樂學校教授作曲
定價五錢＝送料九部迄貳錢

青年團體操

器具不用且場所を要せず實行簡易陸軍戸山學校選青年團中央部編纂
定價五錢＝送料四部迄貳錢

緬羊の飼ひ方

青年團中央部農業主任和田穆新著平明懇切總振假名付袖珍形頗美本
定價六拾五錢＝送料四錢

青年團指導

青年團改善指導の標準書▲青年團中央部編纂▲菊判三百八十有餘頁
定價壹圓參拾錢＝送料拾貳錢

趣味讀本 通俗文學

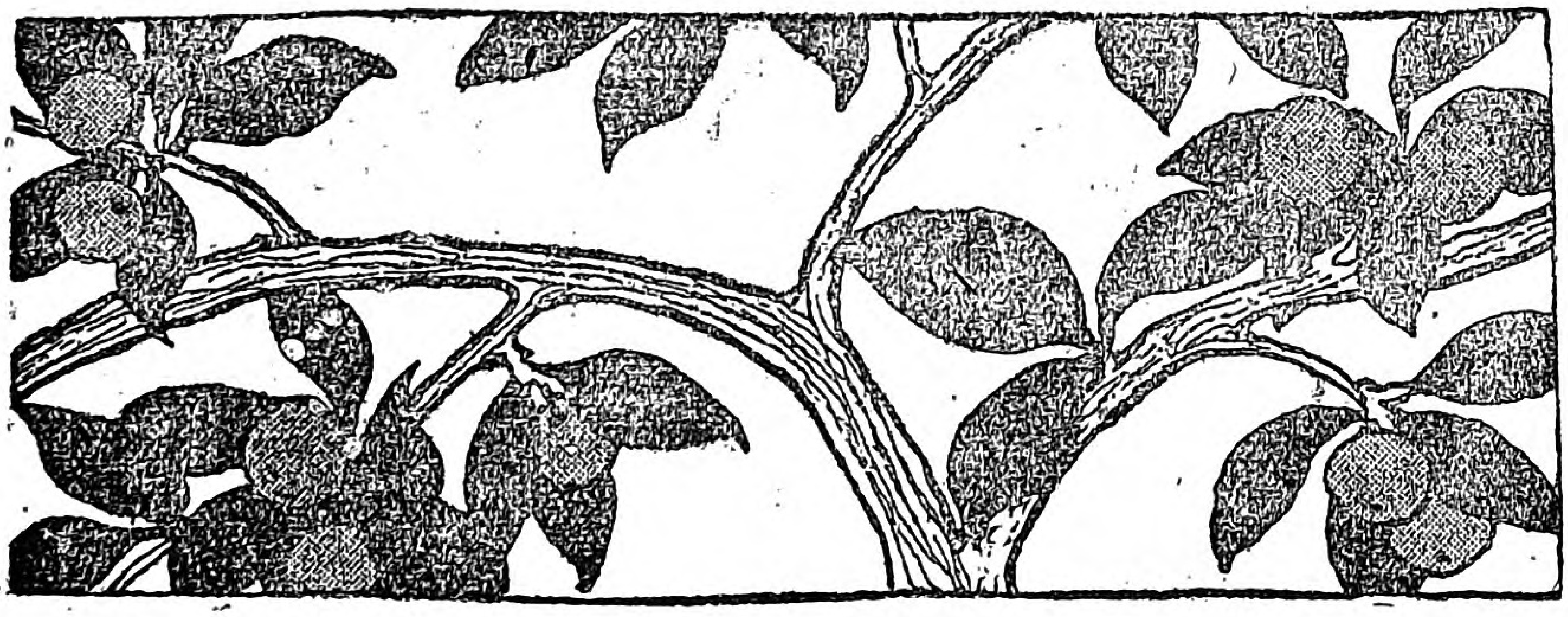
文部省普通學務局玉井廣平先生著青年の娛樂用課外讀本として好適
定價七拾五錢＝送料六錢

地方青年の教養

内務省監察官守屋榮夫先生著▲青年團員教養に關する新研究の發表
定價壹圓參拾錢＝送料拾貳錢

東京市麴町區永田町一丁目　**帝國青年發行所**　振替口座東京二一六八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



處女の友

十一月號

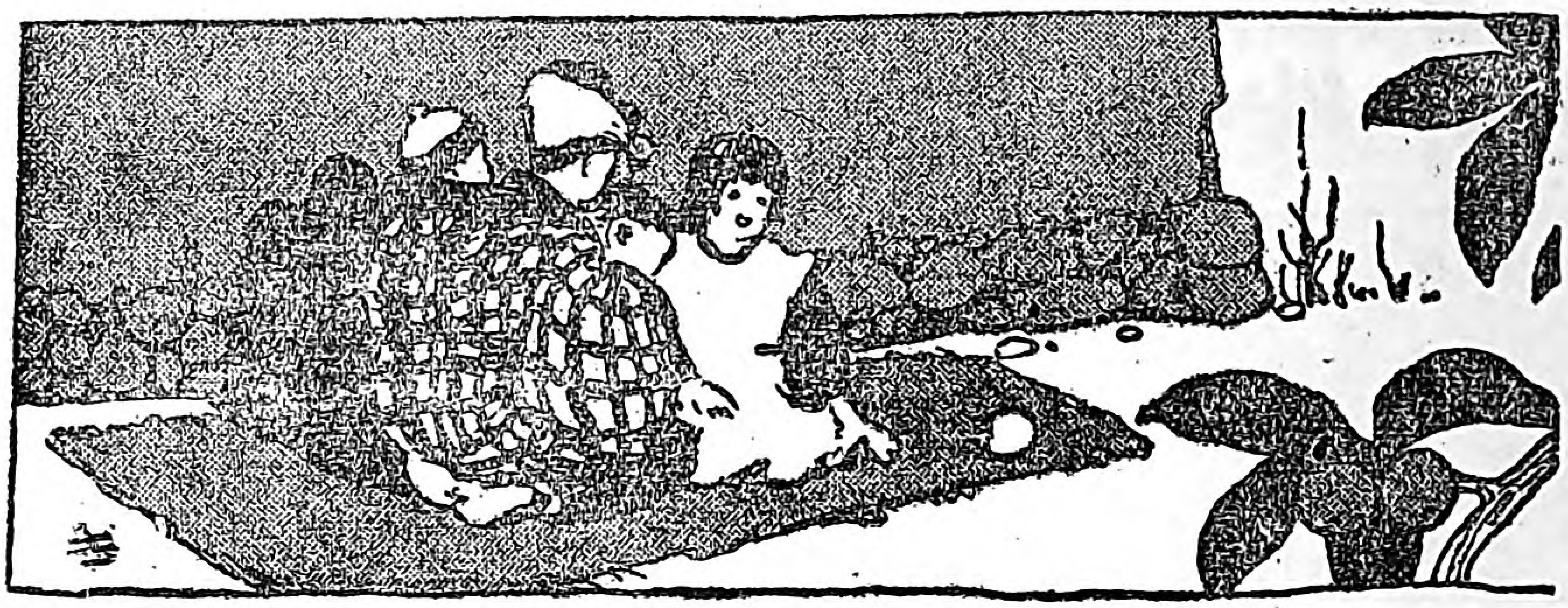
大正八年十一月一日發行

表記　わたりどり……田代紫光筆

口繪　婦人會の東京見學　地方婦人會の活動

記事

▽卷頭（野の幸）……一
▽着物を飾るより頭の中を飾れ……二
▽鎭守の祭を盛んにせよ……侯爵　大隈重信……五
▽婦人の覺醒を望む……文部省督學官　棚橋源太郎……八
▽對者をも愉快にする愛嬌……中央部理事　山脇房子……一〇
▽食物の缺乏した時の英國……伯爵　二荒芳徳……一三
▽工場にゐる婦人へ……中央部理事　天野藤男……一五
▽親馬鹿……山田わか……二〇
▽處女時代の衛生……中央部理事　吉岡彌生……二一
▽新しい帶と羽織の仕立方……大妻技藝學校長　大妻一惠……二四
▼處女會中央部工場へ……



巡廻視察講演……二七

▽中央會部女媒介……二八

▽處女哀話 都にあこがれて(二)……白雲生作……二九

▽富士瓦斯紡績會社押上工場をみるの記……三三

▽女の死に方……三六

▽東京を見學した婦人會員より……三六

▽拾つた栗を還へした石田梅巖先生……四〇

▽婦人團の東京見學……四一

▽都の女學生と田舎の婦人會との握手……四五

△片葦葉(湖の傳説)……畠山敬子……四七

▽新米の小包……四七

▽處女新聞……四八

▽懸賞文藝募集……四九

△十五夜の月に泣く娘……五〇

▽處女會活動寫眞となる……五二

▽活動寫眞をうつすの記……高橋泰一……五三

▽全國處女會婦人會主婦會一覽(其三)……五四

▽編輯局より……五六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

知識階級婦人の伴侶!!

毎號皇后宮職に御買上台覽の光榮を賜ふ!!

婦女新聞

毎週日曜發行

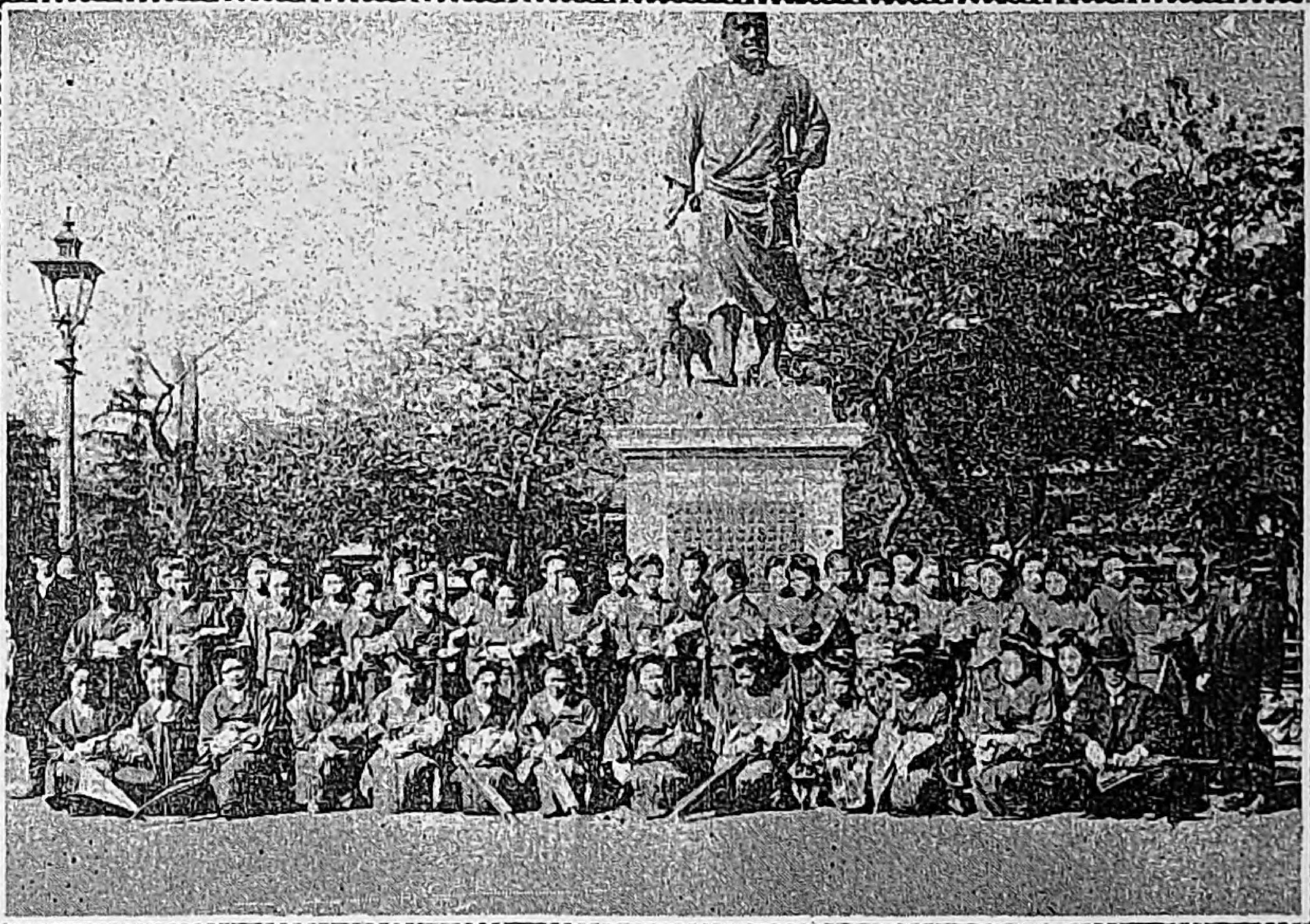
定價十週(十部)送料共七十三錢 △二十週(二十部)同一圓四十五錢 △三十週(三十部)同二圓十五錢 △五十週(五十部)同三圓五十五錢

婦女新聞は、我が日本全婦人界の輿論を發表する機關であり同時に、婦人をして時代に必要なる知識を修得せしめんとする週刊新聞であります。お料理や裁縫や小説だけで滿足なさる婦人方は、婦女新聞をお讀みになる必要はありませんが、此の婦人思想界の大變動期に處して、自己の進むべき新しい進路を見出だしたいとお望みの方は、是非共婦女新聞をお讀みにならなければなりません。婦女新聞は、知識階級の婦人の伴侶として、共に社會改造に從事したいと希望して居ります。處女會を指導者せらるゝ方々には、是非讀者になつていたゞきたい。試みに先づ十週間だけお讀み下さい。大きな日本、廣い世界の大勢に通じ、そして時代の新知識を得られる事は、一町一村の處女を指導せらるゝ上に、極めて〳〵必要と信じます。

東京・淀橋・角筈　**婦女新聞社**　電話番町一三〇六番　振替東京二八〇七番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

群馬縣新田郡鳥之郷村婦人會の東京見學旅行



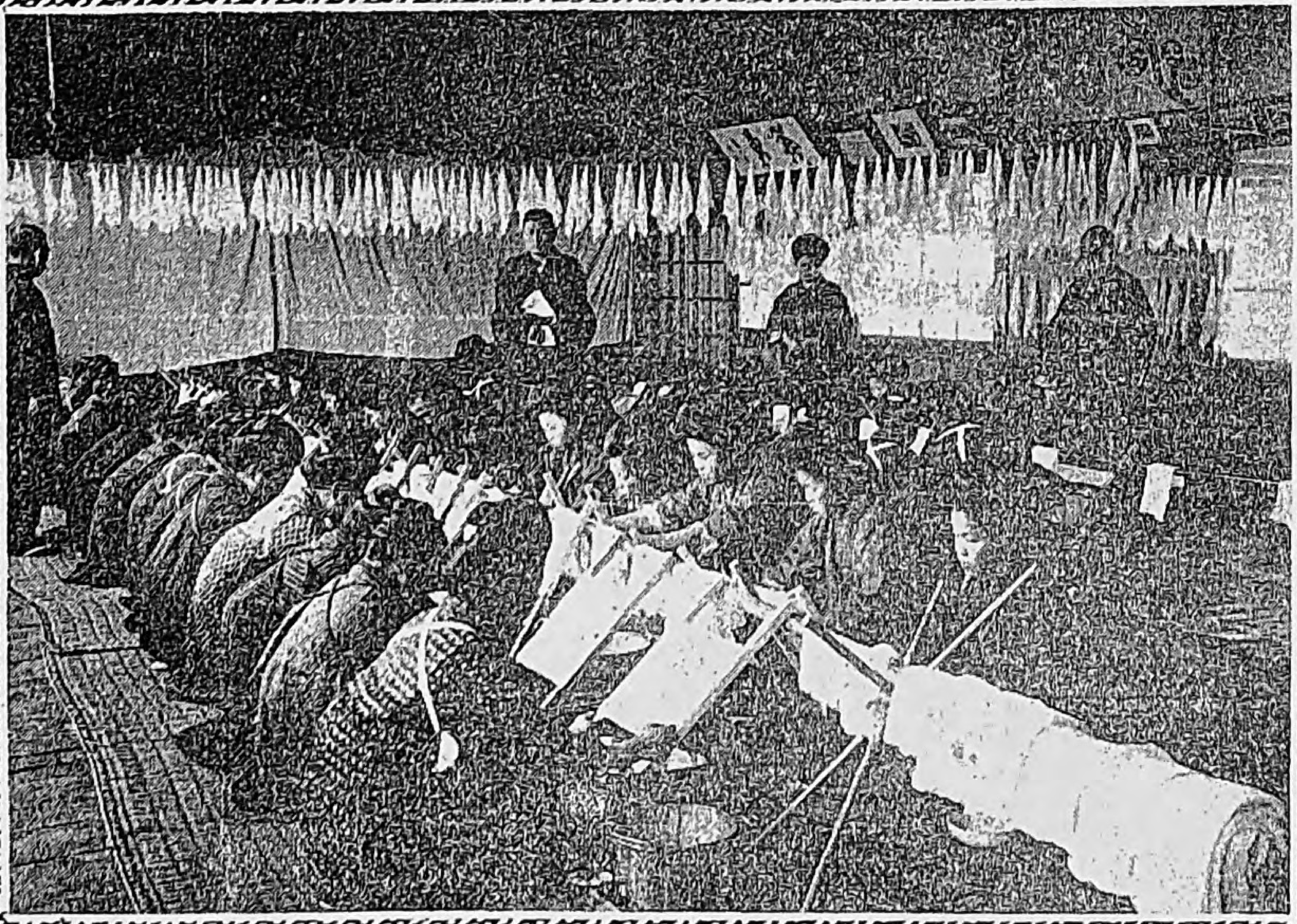
押上富士紡績工場より淺草を經て上野公園西郷銅像前にて記念撮影

富士瓦斯紡績工場の視察（左端天野理事）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方處女會の活動

福島縣伊達郡上保原村處女會大會



三重縣多氣郡西外城田村處女會の絞り染講習

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女の友　十一月號

ことしや豊年穂に穂が咲て
みちの小草に米がなる

農商務省の豫想は六千萬石と申します。近年にない豊作お百姓はほく／＼ものです。お蠶はあたる、お祭で儲ける、工場の娘からお金が來る、無盡の金は入る、暮には忰も兵營から歸る、目出度目出度が重なり合て、地方の景氣はすばらしい。

然しあまり調子づいて生活の向上からせいたくに脱線して、何の爲に、どうしてこういふ風に景氣がよいかといふことを忘れ、鍬を粗末にし、土地の惠みを忘れて、せいたくになると、町に居て永い間苦んで心底から土地が戀しくなり、田舍に歸つて働こうと決心し始めた町の人の爲に、田舍の人は鍬をとられ、土地をとられてしまふ。町の人は身體は弱いが、智識がある。競爭したらば「どちらが勝つかわからぬ。油斷大敵、勝つて兜の緒をしめよ、事を破るは、失意の時に非ずして、得意の時にある。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

着物を飾るより頭の中を飾れ

◉若い女がモンペ

先年會津の地方へ旅行しますと、老婆が、袴の股立をとつたような恰好のヅボンを穿て通るのを見受けました。一寸妙に感じましたが、その中若い娘さんがつれ立つて參るのをみますと、矢張このヅボンのようなものを穿いてゐます。是はモンペといつて、寒い國ですから雪除けの爲に穿くのださうで、永い間の習慣で、土地の若い娘も奥さんも、はづかしくも何ともなく、隨分と立派な着物の時にも、穿くさうです。

三重縣の漁村に參りますと、若い女が蜑となつて海の中を潜り、鮑をとつたり海老をとつたりしますので、女は磯齧といつて髪を堅く小さく丸めてゐます、勿論簪なんぞ挿すものはありません。挿した所で、一度海に飛び込めば、臺なしになります。

◉指環をはめて田の草とりは

幾度も繰り返して申すことですが、すべて着物は仕事するに都合のよいものを擇ばねばなりません。遊んでゐる人は姑らく置き、家の中で大勢の人に接し、又は靜かに仕事してゐる人には、美しい着物も必要であり、美しい髪飾りも、紅も白粉も必要でありませうが、外に出て働く人殊に力業をする人は、そ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

んなことに頓着してゐられません。指環を嵌めて田の草とりしたら、金が錆びてしまひます。肥料いちりをする時に、香水がなんになりませう。ゴム草履を穿いて田圃路を辿れば、一日で臺なしになります。漁夫は漁夫らしい着物、お百姓の娘はお百姓の娘らしい着物、工女は工女らしい着物を着るのが、一番自然で、神聖で、天地の神樣にも愛せられるのです。お百姓の子が、毎日縮緬の着物を着たいなんぞと思ふのは、つまり働くことが嫌になつたといふことと同じで、怠けものです。

◎縮緬づくめの勞働

仕事に相應する着物を着てゐる人が質素で、仕事をするに都合のわるいような着物を着るのがせい澤で、着たがる心が虚榮心です。御角力とりの角力とるときには、はだかではありませんか。はだかでもおかしくはない、いやはだかでなくてはとれません。お百姓が粗末な着物を着て仕事するのは當然です粗末な着物ではなくて、立派な着物です。藝妓は立派な着物を着ます、いゝ帶をしめます、指環も嵌めて居ります。皆樣はせい澤だと思ひなさるでせう、中には羨ましいなあと、ご自分の野良姿を省みてため息つかれる人も「處女の友」を讀まない人の中にはありませう、然しよく考へてごらんなさい、藝妓が自織の着物に紺の前垂かけ、草鞋脚袢でゐては、誰が頼みに來てくれませう、いゝ着物を着て、いゝ指環を嵌め、お白粉をつけてゐるからこそ商賣にもなり、勞銀も貰へるのです、着物は大抵借金ださうです。そして踊つたり、歌つたりするのも樂しく、陽氣でやつてゐるのではなく、商賣なりやこそ涙を呑んでカラ元氣を出して、お腹の中では泣いて踊つてゐるのです、つまり借金を濟す爲の勞働踊と思へば間違ひはない、農民が勞働者ならば藝妓も勞働者です。農民が木綿着物の勞働者ならば、藝妓は縮緬づ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

くめの勞働者です。

こう考へると、藝妓は、商賣をするによい着物を着てゐるのですから、せい澤でなく、極く質素といふことになります。皆樣の野良姿と同じことです。若し藝妓をせい澤といふならば、皆樣の着物もせい澤でなければなりません。

回お嫁入に桶一つ

雪駄穿くより草履を穿けば足が輕うて氣が樂な

絹の着物を着てさへゐねばほこり仕事も氣が樂な

皆樣と御一所に、是からは、なるべく自然に叶つた、仕事するに都合のよい服裝をすることにしようではありませんか。其には皆樣箇人がその氣ですることも必要ですが、處女會なり婦人會なり、又町村なりで、申し合せをつくることも大事であります。會津地方のように、雪の爲、又餘り天候の爲に申し合せたのは一番都合のよいことですが、皆樣は人の力で質素の規約をつくつて下さい。質素な服裝をしたいが、私丈ではばづかしい、又世間體がわるいといふのが世の人の常です。無理もないことでありますから、團體の力、輿論の力を以て質素を風俗とし、習慣とするようにして下さい。宮崎縣西臼杵郡高千穂村婦人會では、一切綿服で通すといふ申合せ規約をつくつてゐます。又三重縣の漁村の娘は、お嫁入の支度は磯桶一つになつてゐます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

鎮守の祭を盛んにせよ

侯爵　大隈重信

▽八十二歳とは見えず

爽やかに晴れた日曜日の朝早稻田の侯爵邸を訪れると、「今お庭の御散歩中ですからしばらく〳〵」と應接間に通される。山水の油畫の額を眺め入つてゐると、令嗣信常氏が見えられる、處女會のことについていろ〳〵御話をしてゐると、侯爵がお戻りになつたと見え『どうぞこちらへ』と立派な西洋間に案内される、椅子にもたれてゐると、侯爵は信常氏に扶けられつゝ靜かに歩み來られ、ドッカと安樂椅子によりかゝられた。

御挨拶を申し上げると、

『をゝお目にかゝつた筈ぢや、そんな覺えがする』。

とにこやかにほゝゑまれる。八十二歳と伺ふが、その血色といひ、元氣といひ、矍鑠として壯者を凌ぐものがある、流石に國家の元勳である、偉人である。風丰といひ、態度といひ、温顏慈容の中に、凜然たる氣慨を持せられる。

日はうらゝかに照つて、窓を透して美しいお庭がよく見える。車馬の騷音もなく、寔に此處は別天地。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

▽田舍を富ませよ

『近年處女會の方面に就きまして、働いて居ります、青年會と兩々相俟つて健實に發展せしめ、小にしては地方の活力を進め、大にしては國力の根柢を培ひたいと存じます。何卒閣下の御督勵をお願ひ致したう厶います。』

侯爵は口を結んでヂッと默考して居られたが、

『ウム、結構ぢや、青年と處女と相俟つて土地の爲に盡さんければならんのである、青年會も大分出來たが、基礎の鞏固な活力のあるものでなくてはならんのである。是からは婦人の力も偉大ぢや、』

煙草がお好きと見えて、間斷なく葉卷を吸はれる。煙がゆるやかに漂ふて、それが庭の方へ紫色の線を成して消えてゆく。小鳥の聲がのどかに聞える。

小著『處女會の設置と其の事業』をお目にかけると、其を御覽になつてウム『結構なことぢや、何でも地方を盛んにすることである、今日の弊は物質的文明に在る。頭腦のみ膨大して肝心の根が看過されてゐる、田舍を富强にすることぢや、自覺あり根柢ある鄉土を建設するんである。』

其から侯爵は國民敎育の精神から軍事敎育の革新、地方指導の要項などに就て、侯爵一流の博大の智識と滔々たる雄辯を以て、葉卷の空しく消えてしまふまで、述べられる。

茶菓を饗される。

▽盆踊大に可なり

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『あなたは興津、ウムヱ、所、井上の別莊もあつて時々いつたが、氣候もいゝ、蜜柑がよく取れますな』

侯爵の多方面なる、其から柑橘の栽培から、園藝の趣味に論及せられ、遂に豊年祭まで進んだ。

『あの豊年の祭典ぢや、あれを盛に莊重にせんければならんのである。鎭守の祭禮ぢや、凡て鎭守を中心とした祭の類を盛にして、一郷擧つて和樂するんである。其處に自治の淵源も發すれば、産業開發の動力も湧き起るのぢや。農民に娛樂を與へて、愛郷土着の精神を喚起せしむるんである。その娛樂としても鎭守の祭典は理想なんである。殊に若い青年男女は第二の國家の中堅ぢや、農ならば農、漁業ならば漁業、各々其の土地に安住して、感激して其生を樂ましめるようにならんければ、千言萬語、地方改良を力說しても徒勞なんである。』

『閣下全く私は閣下のお說に共鳴致します、彼の盆踊豊年踊も大に鼓吹してゐますが、閣下は如何に考へ遊ばしますか。』

『盆踊！大にいゝんである、盛んに踊るべしである。老幼男女我を忘れて踊る、其處に一郷の團欒輯睦が釀されるんである。舞踊のない國は亡びるのぢや。』

侯爵は大の盆踊讃美者であられる。

と、この時若い紳士が入つて來られた。パンの研究で名高い土岐子爵であつた。こんどは、食糧問題に及んで、農村營養問題から臺所の研究までに談話の花が咲いたが、あまり長座は御無禮と、お暇して玄關に出ると、自動車が勢よく淸められた庭を軋つて横付にされた。（あまの）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

婦人の覺醒を望む

東京高等師範學校教授
文部省督學官教育博物館長　棚橋源太郎

□

この度の大戰爭や世界の改造運動、それに近來の物價騰貴、生活難で、何程呑氣な本邦の婦人でも、少しは覺醒して來た樣ではあるが併ながら、大多數はまだまだ眞に覺醒といふ所までは參つて居ないのである。それで私は何とかして高等小學校卒業以上位の婦人だけなりとも、本當に覺醒する樣に致したいと思ふ。彼等婦人をして、自分共は、帝國人口の一半即ち國民の半數を占めて居る者ですから、自分等の覺悟一つで、國家が隆昌にも趣けば、また衰亡にも歸するといふ自覺を持たせたいのである。

國家經濟の基礎を成す各家庭の經濟狀態を改善して生活の安定を得せしめるのも、また、第二の國民たるべき各家庭兒童の健康を增進し、元氣を振作し、其品位を向上させて國民を改造するのも、皆婦人の力に俟つ處が極めて多い、大體彼等の覺悟次第で如何樣にもなるのである、然るに、我が國の邦人には此覺悟と抱負とを有つて居るものが頗る尠いのである。

我が國の婦人は、家事や家業には相當勵精はするがそれが國家社會の隆替に至大の關係を有して居るといふ事の自覺を以て働いて居る方が甚だ尠いのである、即ち、國家社會の現狀や、世間の推移に注意しつゝ、進步的研究的の態度で以て事に當るといふ事が大に缺けて居るのである、其の結果、今日物價騰貴や生活難に遭遇しても、新らしい工夫を凝らし、時宜に適した

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

方法を講じで、生活費の節約收入の増加を圖つて往くといふ事が殆どないのである、唯、困つた、困つたと訴へるばかりで、不相變因襲に囚はれ、舊い生活法に甘んじて居るのである、要するに、これは我が國の婦人が社會の實狀に疎く、研究的の頭腦を缺いて居るからである、この先天的の缺陷を補う爲めに、東京の女子高等師範學校では、この度現代科といふ新らしい科目を加へられて、この月の十六日から其の講義が始められたといふ事である、就いては、一般の御婦人方就中家事に係累の少い處女の方々は深くこの點を顧慮して、成可的講演會講習會抔へ出席し展覽會其の他の見學にも力め、また善良な圖書雜誌や新聞紙の閲讀をも怠らぬ様にして、今少しく世間の事情に通ずる様にして貰いたいのである。

棚橋督學官

兎角、婦人の方は、一家の事だけに沒頭する傾があるが、何卒今少しく眼界を廣くして、國家社會の事にも考を向け、家事の餘力で、少しは公共の事にも盡力する様に願いたい、西洋では、社會的公共的事業の或程度迄は、婦人の手に依つて經營されて居るのである、我が國の如く婦人團體の振はない、また婦人の活動の鈍い國柄は世界に其の比類が無い程である、本邦の婦人にして眞に覺醒し、其の責任の重大な事を自覺されたならば、今少しく社會的にも活動しなければならぬ筈である。私はかねて處女會婦人會抔が婦人の覺醒活動に缺く可らざる機關なる事を深く信じて居るものであるそれで、國家の爲め衷心其の健全なる發達を熱望して歇まぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

對者をも愉快にする愛嬌

山脇高等女學校長
處女會中央部理事
山脇房子

□

誰でも他所へ行く時には、平常着を晴着に着かへます。これは、平常着といふものは兎角汚れてきたなくなつて居るので、そのまゝ他人の前へ出ては、不快の感じを與へて失禮であるといふ意味から起つた習慣でせうと存じます。着物に限らず、言語でも、動作でも、對者に不快の感じを起させるのは、失禮に相違ありませぬ。顏付などは特にさうであります。

□

自分の顏の事ですから、顰めて居やうが、怒つて居やうが、自分の勝手だといはれさうなものですけれども、さうは參りません。吾々御互は、多數の人々と一緒に此の世の中に住んで居るのですから、お互に注意して、他人に不愉快な感じを起させないやう努めなければなりません。それが禮儀であり、作法であります。客に茶や煙草盆を進める時の作法から、食事の給仕や應答の仕方まで、すべて禮儀作法といふものは、皆對者に氣持よく感せしめる事を主として作られた形式であります。ですから、他人の前で、苦虫を嚙み潰したやうな、不平なやうな、腹立たしいやうな顏付をする事は、失禮なのであります。

□

それに、いつでも嬉しさうに、ニコ〳〵した顏付をして居りますと、對つて居る人もそれに釣り込まれてニコ〳〵するやうになり、笑顏と笑顏とが溶け合ふやうになりますから、その間に交換される會話も自然圓滑に進行するやうになりますが、不滿足らしい怒つた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

やうな顔付をして居りますと、相手も自然こわい顔をするやうになつて、話にも自から角が立ち、まとまるべき相談事もまとまらないで仕舞ふやうな例は澤山あります。即ち、御互の利害の上から申しましても、不愉快な顔付は損で、ニコ〳〵してゐるのは得であります。諺に「笑ふ門には福來る」と申しますのも、つまりニコ〳〵した顔付の人ばかり居る家は、近隣の人にも愛せられ、村中にも評判がよく、自然幸福になるといふ意味なのでせう。まさか、大口を明いてゲラ〳〵笑つてゐたら福が轉がつて來るといふやうな意味ではないでせう。

□

このニコ〳〵の笑顔、それが愛嬌であります。顔立も姿もよく整つたきれいな人が、立派な衣服を着飾つてゐましても、その人に愛嬌がなかつたら、丁度香のない花のやうなもので、綺麗は綺麗でも何となく物足りない心地がするものです。處女達には特に此の愛嬌が必要です。

それでは、その愛嬌はどうしたら作れるかと申しますに、心を樂しく持つ外ございません。顔は心の鏡ですから、心が不愉快であればそれがすぐ顔に映つて不愉快な顔となり、心が愉快であれば自ら愛嬌のある笑顔になります。ですから、常に氣を付けて、心を愉快に持たう〳〵と努めることが、愛嬌を作る根本であります。斯う申しますと、「それは誰でも心を愉快に持ちたいと思ふけれども、氣に入らない事や悲しい事が絶えず出來て來るから仕方がない」と申されるかも知れません。しかし、そこが「物は考へやう」と申すものです。美しい刺繍でも、裏を見ればきたないもの、右から見れば不恰好な物でも、左からは體裁よく見られる事があるものですから、總ての物、總ての事を、惡い方面から見ず、善いやうに〳〵解釋すれば、腹の立つべき事でも、笑つて過ごす事の出來るものです。悲しい事でも、その中に希望を見出だすやうにして、成るだけ樂觀する事にすれば、泣いてばかり居ないでも濟むものです、物は考へやう、心は持ちやうですから、常に心を愉快にして、愛嬌を失はないやうになきることを希望いたします。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

食物の缺乏した時の英國

伯爵　二荒芳德

○

日本でも節米、代用食と申す事が盛になりました。

私は丁度一昨年から昨年に亘つて英國に居りまして英國が獨逸の潜行艇のために航行運輸が自由に出來ず英本國に通ふ船は屢〻敵艇のために爆沈されまして流石に物に動ぜぬ英國人もこう航行運輸が脅されては英國人は餓死して仕舞ふかも知れないと深い愁に鎖されてをりました。勿論これに對して政府の方では現今作つてをる軍艦が出來るのが何日であるからその時迄持ちこたへれば食糧問題の不安はなくなると申して國民を勵ましてはおりました。

その時分のパンの制限はひどいものでした。チャンと切符が出來ておりまして毎食毎にその切符を出すと給仕女が一食の分量を持つて來てくれます。この容積は一寸見た處中位の大きさの密柑程のものです。勿論これでは足りませんから足らない處は馬鈴薯や他の野菜でこれを補ふのでございます。曾て私が友人とある料理屋でパンがあまり小さいのでこれは半食分であらうと思つて何の氣もなく一口か二口に喰べて仕舞つて次のパンを呉れと給仕女に申しますと給仕女は『何んです。今差し上げましたのに……』と眼を大きくして呉れさうにもしません。『何んだね。今のはあれで一食分かね？』と聞き返せば『えゝそうですとも……』と云ふのです。今更お腹に入つたものを出して重さを料るわけにも行かず『オヤ〳〵』と云ふやうな顏をして互に苦笑しておりますと給仕女も大に同情の念が湧

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

いて來たものと見えてビスケットを五六枚持つて來て食卓に置いて行つてくれました。その私の友人と申すのが内務省で日本全國の警部や巡査の大目付けをしておつた人でしたから、私はずい分處が變ればたつた一つのパンの塊で給仕女の同情にすがるやうにもなるものだと諸行無常と迄も行きませぬが、浮世の哀れを感ぜずにはおられませんでした。

又ある時パリに遊びに行きまして生憎パンの切符を忘れてゐたのに氣付かずパンを貰つてたべた後に氣が附き給仕に切符を忘れた事を申しますとこの給仕は妙に意地の惡い男で『夫れはいけません』とつッけんどんに云ふのです。いけぬと申したとて胃の腑の中に入つて仕舞つたもの蛙じあるまいし腸を吐き出して洗濯をするわけにも參りませんからまゝよ何とかなるだらうと存じまして知らん顔をして食べておりましたら前の食卓にゐた老人夫婦が同情して呉れまして二人前のパン切符を呉れましたので問題が無事に解決致した事もございました。この時分のパンは馬鈴薯の粉が澤山入つておつてボロ／＼しておりまして胃の弱い人はこのためにお腹をこはすと云ふ事を度々聞きました。

○

又英國では到る處に「パンを少しく食へよ』「パンを節せよ。然らば勝利を得ん」と云ふやうな廣告が書いてあり又郵便物の消印にこの警告を押しておりました

本來西洋ではパンは指で千切つてたべるのが本則でございますが此の時分は必よくナイフで切つて喰べるやうにと申す事を矢釜しく云はれました。指で千切つて喰べますと後に殘つたのが汚く見えて他のお客につかへませんからでムいます。

○

次いで肉無し日も出來ました。これは一週間に二度で月金の二日でムいました。その他の日も肉切符がないと肉が喰べられません。時々切符を忘れましてお美味ビフテキなどの香がしておるのを横目で見ながら、肉が貰へないで、お魚のお料理で我慢いたしました事も度々ございました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

その他消燈時間を今後十一時迄として、電燈に使ふ石炭の節用をいたしますまでになりました。

○

此れ等は皆法律でやつたのでございますが、流石に英國人は遵法心が強うございますので、實に心持ちが好い程よく勵行されました。

翻つて日本の情況を見ますと戰爭しないのに米が足らない有樣で實に心細い限りでございます、戰爭を大童になつてやつておる國は結局食糧について激しい紛爭が起らなかつたのに、日本では米騷動などと申す不目出度い事が勃發したりしました事など列國の手前ずい分恥しい事と存します。現に私等はあの騷動の時フランスにおりまして英佛人からどうして日本はそんな事になるのだらうと不思議がられました事でございます。

○

日本で食糧の問題は實に差し當つて解決しなければならぬ所と存じます。勿論米價を易く生活を容易にする事が大切ではありますが一方節米代用食の問題も日本人がもう少し眞面目に見得坊場をやめてよく自分の一家及國家を顧みて心から代用食を喜び外米を好むやうにならなければならぬと存じます。日本は昔より米が主なる食料であつた丈に米と申すものについては一種の傳說的因襲を有し飽く迄も好い米、即ち瑞穗國の米を食はないと一家の不名譽であるやうに考へてゐます之はあまり窮窟な見方だと存じます。日本も既に世界的の地位を占め地球上に起つた波響は直に日本にも影響する今日でございますから食物も世界的なものを用ひなければならぬと存じます。假令日本米をたべても大和魂が少くなるわけでもありません。例へて申しますなら世界を對手の戰爭に昔の日本武士の一騎打のやうに飛道具は卑怯未練故使はぬと申しては機關銃に對抗は出來ませぬ。飛道具を卑怯と申したのは昔の事只今はこれが主たる戰の道具、外米や代用食をけなしたのは昔の捉はれた思想です。西洋の武器は大和魂で使ひ食物は世界的になつても心は淸い日本人でなければなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

工場にゐる婦人へ

天野藤男

回赤毛布の大勝利

八十萬人の工場に働く姉妹たちよ、あなたの多數は私共のように、田舍に生れ、年頃となるまで、田舍に育つた人である、青年會員が兄弟であるならば、處女會員は姉妹である、その姉妹の一部分が、都會地の工場に働いてゐるのである、皆樣は私共の姉妹である。

土百姓、芋堀、赤毛布と嘲けられ、侮られたそのお百姓が、近頃次第に實力を増して、嘲笑した都會の人達が、却つて生活難にやつれてゐます、地方の勝利はつまり働くものゝ勝利です、私は世の中が、一日々々とまじめになり、公平になつてゆくように思はれて、愉快を感じます。

回工女の評判のわるかつた譯

勞働は神聖であります、農場に働くのも、工場に働くのも、健氣な心は一つです、然るに何故女工といふと、賤しく品のないように思はれたでせうか、是には昔の女工のことを少し書く必要があります。

昔の女工は、義務教育を受けたものが少く、從つて教養もなく、人格も低いものが多かつたのです、女工が賤しかつたのではなく、女工となる人に教育のある人が少かつたのです。

それから工場そのものゝ設備の惡るかつたことも、女工の品位を傷け、女工の信用を低めた一の原因でした。教養がなくとも、まじめなをとなしい、女工の志望者があつたのですが、一度工場には入りますと、募

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

集員の吹聽とは打つて變つて設備も待遇も惡く、その上に健康にもよくなかつたので、彼女たちは、工場へ來たことを悔ゐますが、もう及びません、その中に居は氣を移すで、自然と工場内の生活に馴れて來ますがその馴れるといふことは、惡い意味の馴れることです惡く馴れさせるものは、年長にゐるよくない女工たちと、品行の修らない男工です。是等が初生な田舍乙女を惡ずれさせたり、墮落させたりするのです、又女工の中には方々の工場を渡り歩いてゐるものもあれば、又地方にゐて品行修らず、都にあこがれて、故里を飛び出したような女もあつたやうです。

回女工も進歩しました

是等が一所になつて、女工といへば、敎養の乏しい品性の劣等なもの丶ように思はれたのです、又誠意のない女工の募集員の行ひも、工場の信用を失はしめる理由となつてゐます。

然し皆樣是はもう昔の工場と女工のことです。今の工場は資本家の反省に依つて工場の設備もよくなり又女工に對する人格上及物質上の待遇もよほどよくなつて來ました、之と同時に、女工其もの丶素質も非常に向上して來ました。卽ち昔の樣に漫然と工場に流れ込むといふようなものもなければ、又惡桂庵の手から女工となるものも少くなりました。工場法も制定せられ、義務敎育を終了しなければ、女工となることも出來ません、又地方には處女會などが出來て、義務敎育終了後智識を修め、婦徳を磨くことが、容易になし得られるようになつて來ました。

女工となる女子が進歩し、父兄も自覺し、資本家も反省し、工場も立派になり、その上に世の中の人の同情が女工に集つて、待遇をよくするよう、衛生に注意するように、夜業はよすようにと、いろ／＼に資本家に注文をするようになりました。こんな譯で女工の地位は次第に高まり、工場に働くことの苦痛が昔より減つて來たことは、事實であります、永い間女工が我慢して働いてゐた、當然の酬ひが來たのです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

回工女は孝女なり

八十萬人の姉妹たちよ、あなた方は多く農家に生れ農家に育つた娘さんであります、平和な田舎にも生活難の風が吹きよせて來ました、耕地に限りがあるし、人口は殖えます、青年や娘が故鄕を離れて他鄕異國に出稼するのは、浮いた心ではなし、思ひ餘つてのことです、私は女工は即ち孝女なりといつてゐます。お金持のお娘さんが女學校にいつて、ピヤノを習つてゐ時るに、皆様はお家の爲に又自分の將來の爲に、戀しい父母の膝を離れ、なつかしい故鄕と袂を別つて遠い都の工場に來て働きなさる、さうしてその稼いだお金の多くは故鄕の兩親へお送りなさる、中には前借といつて女工となる前に、お給料を父母にさゝげてゐる、氣の毒でもあり、又感心でもある女工さんがあります。故鄕へ送金しない娘は、其お金を貯めてお嫁入の支度の一部分になさらうといふのです、娘ざかりを遊びほゝけて、その揚句に、お嫁入の支度をふんだんに親にねだる娘の多い世の中に、親の暮らしを助け、自分で食べ、て着て、その上に結婚の支度をする、何んとたふといことではありませんか、私は皆様を孝女だといひましたが、皆様は貴婦人でもあります。

回農場より工場へ

或る女工さんは、お家の衰運をもり返す爲に、二十年も務めて何千圓といふ貯金をなさつて錦を故里に飾つたと申します、又ある女工さんは、兄妹の學資金を貢ぐ爲に女工となつたと申します、親の病氣の爲に、兄妹の不幸を救ふ爲に、工場に働いてゐられる女工さんは少くありませぬ。

こういふ尊敬すべき孝女を、今までの工場はどう待遇してゐましたかと申しますと、いかにも墮落でもして飛び込んで來たかのように、人格をも認めず、機械か道具を扱ふように扱ひ、賃銀も少なく、仕事は多く夜中睡ずにさへ働かせました、その爲肺病に罹つたり、脚氣になつたりして涙を呑んで故鄕に歸つた女工さん

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

が多いのです、然るに、田舍育ちの無口な控へ目の女工さんは、口に出しもせず、不平も訴へずよく我慢して來ました、けれど世の中は公平になり、人道を重んずるようになりました。皆様はヂッとしてゐても世間が騷ぎ出しました、資本主も考へて來ました。工場は立派になり、衛生狀態も整つて來ました。休養日も設けられ、修養の設備も講ぜられ、徹夜業もボツ〳〵廢せられるようになりませう。

皆様がまじめに働いた自然の報酬なのです。もう是からは、工場を恐ろしい所のように思ふ必要はありません、田舍に働くのも孝行であれば、工場に働くのもお國の爲、一は農場、一は工場、一は農村婦人、是は工場婦人、もと〳〵田舍から工場へ來たことですから工場と農場は姉妹です。

回工場の風紀

只皆様によく心して戴かねばならぬのは、農業と大分仕事が變つてゐることです、農業は自然を相手としてゐますから、月雪花を眺める折が多く、自然と氣ものんびりとしてゐますが、工場生活は機械を相手に建物の中に居つて仕事をするのですから、自然と靑い物に觸れる機會が少いから自然と人情の溫か味や、うるほひを覺える折も少く、うつかりとしてゐると、心まで機械のように荒々しく、落ちつきのないものになつてしまひます、優しい所、遠慮深い所、親切な所が減つて來る恐れがあります、近頃工場でもこういふ方面に心を須ひまして、工場の中に花園を設け、養鷄場を設け、又山羊など飼つてゐる所もあります、皆様は機械に使はれてはいけません、機械は人の智惠で使ふといふ事を常に胸にもつてゐなければなりません、さうして騷々しい工場に居つても、しづかに考へ、落ちついて考へるゆとりをもつてゐなければなりません。武藏野の原で月を眺めるばかりが風流ではありません工場の窓から眺めた明月に風流の心を寄せ、作業場に春雨を聞きながら、故鄕の春を思ふといふように、仕事しながら、心を風雅に持ち、高尙にもつことが、大

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

事です、風流といふのは、心のもちよう、海女は荒波の上に作業しながら、優しい涙をみたしてゐます、生活の中にゆとりをつくることが肝心です。

夜ふと厠に起きる、月影が工場を照らしてゐます、あゝ美しい、故郷の父母やいかにと、胸に浮べる其心が既に風流です、優しみです、孝心です、こうして工場の中に働いてゐる姉妹がみな優しい心を懐き、勵まし合つたならば、女工の品位はズツと高くなり、資本主も皆様をもつと〳〵大事にするようになるのはたしかのことです、昔は勞働者といふと、賤しいもの〻ように考へましたが、無理もなかつたのです、電車へ乘つて不體裁なまねをしたり、往來で大聲立てたり、人仲で喧嘩を吹つかけたりするような勞働者が多かつたのです、勞働は神聖ですが、勞働者が神聖でなかつたのです、だから勞働者といつては馬鹿にされたのです。

働くといふことは、是からは一番たふといことになつたのです、勞働の神聖は動かすべからざる眞理、是からは働く人の心掛一つです、皆様は立派な氣品ある女工となつて下さい。

回品位を保て

次に昔の女工は風儀が修らず、世の中から批難されました、工場でも其をみてみぬ振して居つたとさへいひます、機械の中に起き臥してゐることですから、人の情けを餘計に感じます、男工など〻親しくなることは無理もないことでせうが、此處が考へ所、皆様は何の爲に誰の爲に遠く出稼してゐるのを考へて下さい、生涯苦樂を倶にする人を定めるに、決して輕はづみしてはなりませぬ、親切さうに言ひ寄つた人がきつと親切であるとは言ひません。多情の人は無情の行をします意思を固くもつて誘惑に陷らず、甘言に乘せられず、自分で自分の操を守りなさい、貯金が出來ても行を紊しては何の役にも立ちませぬ、親切で働き手で、この人ならばと思ふ人があれば、其は夫婦となるもよいでせう、然し其にしても、親兄妹と相談をし、又工場の方とも相談して決めなさい。若い頃は自分の心が正直

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

で一本調子なので只自分の思つてゐることが一番よいように思ひ込み、其で遂に身を誤ります。貞操は女の生命である位のことは、皆樣はよく御存知のことです
斯樣に皆樣が先づ立派な婦人となり次で資本主も立派な人となれば、工場も立派になり、仕事も捗取り結局工場の利益も上ります。皆樣は我は孝女なり、我は貴婦人なりといふ誇をもつて、十分に品行を愼み、身體を自愛してお家の爲、お國の爲に働いて下さい、さうして皆樣の故里にゐらしやる、御兩親とは固より町村のお友達とも連絡をとり、處女會とも氣脈を通じて、後進の姉妹たちで、女工になりたいといふ方を導いて下さい、是もお國の爲であります。處女會中央部はこれから皆樣の味方にも相談相手にもなります。

親馬鹿

山田わか

東京の學校へ出てゐる田舍の金持ちの子息や娘が暑中休暇などでうちへ歸つて來た時には、其の子息や娘はうち中のものや近所の凡ての人々やが農事に忙しく、やけつくような炎天であぶら汗を流して働いてゐても、自分達はもうそんな仕事をするには高尚すぎる人間になつてゐるかのように、自分達が勉強してゐられる財源はどこから出てゐるかも考へずに、白い手をしてのらくらして遊んでゐます。大抵の親馬鹿も亦さうさせてをきます。

其處へゆくと、亞米利加人は理屈が分つてゐますから、そんな馬鹿なことはさせません、平生は最高學府でむづかしい學問に沒頭してゐても休暇でうちへ歸つた時に、もし家が百姓なら草むしりもさせれば、鋤鍬も勿論持たせられます、もし又都會の家へ歸つた娘なら、すゝぎ洗濯は勿論台所働きをさせられます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女時代の衛生

東京女醫專門學校長
處女會中央部理事　吉岡彌生

面白く働くのが第一

處女時代は發育盛りの時でございますので、衛生はかうでなければならぬ、又あゝでなければならぬと、餘りに心持をくよ〳〵させますことはよいことではありません。ですから處女時代の衛生といふことは處女自らは勿論のこと、之を敎へ導く方でも餘程御注意なさるのが大切でございます。それで今健康の方と比較的虛弱な方とに別ちをつけまして、それ等の二つ三つを述べて見ることにいたしませう。

先づ健全な一般の處女方に對ひましては、成るべく規律的な仕事を絕えず休ます澤山に爲せといふことでございます。若いうちは身心共に使ひ、相當な疲勞をいたしましても、其恢復期は至つて早うございます。彼の仕事を休むといふことは善くないとでどこまでも興味も持つて働くのが第一でございます面白味をもつて働くと自然心も勇み勵み、仕事もはかどされ、其上大層身體の爲になります。心身の疲勞も思ひの外尠く、またその恢復方も早うございます。

次に虛弱な處女方に對する註文でございますが、これには無理な仕事をするなといふことでございます場合によつてはどんな仕事をさせてよいか醫者に相談するのがよい、まあ何の道精神を勞する仕事は避けねばなりません。此の點は昔は違つて居りました私の子供は體が弱いから敎師にする官吏にする醫者

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

にするとかいふことでございましたが、それは大間違、どうしても虚弱なものに精神を疲らせる仕事をさせることは毒なのです、それに堪へ得るだけの身體を有つて居なければ無理です、無理な仕事をさせることは益々虚弱な處女を虚弱にして了ふばかりです。そこへ行くと田園生活はそれらの人達にとつて最も効果があります。

田園處女の誇り

然し田園生活の尊いのは虚弱な人の爲のみでなく健全な人達にとつても眞に誇りでございます。田園の處女方は概して病菌に對して非常に抵抗力が強いのです、これは毎日清潔な空氣を吸ひ身體を動かしてよく働いて居りますので、血液の循環がよく從つて新陳代謝が十分に行はれて居る爲でございます。女に比べて非常に誇りとせねばならぬところですチブスなどに罹つたものに就て調べて見ましても、田園の方々の恢復者のプロセントは非常に多いのです、都會殊に工場などに働いて居ます娘方などには大分結核菌に犯されるものがございますが、これは元來虚弱なのではなく、皆工場の設備の不完全、つまり不潔な空氣の中に、絶えず室内で過度に働くのに原因して居ると思はれます。空氣傳染といふのがなか〳〵多いらしいのです、それでこれ等の工場に於ても十時間中一二時間位はぜひとも室外に出て自由な新鮮な空氣に觸れしめたらよからうと思ふのでございます。然し營養物の攝取といふ點から見ますと田園では都會に及ばず、また十二指腸虫の寄生を見ることがかなりに多いやうです、或は前者は經濟上からでもございませう。後者の病は一寸自分でも分明しないので、その儘永く抛つて置くので、顔色青醒めて如何にも營養不良の容態を呈します。これは尠くも結婚前には醫者の診察を受けて驅虫する必要があります。血液不足から來る抵抗力の減少といふことが殊に惡いからです、また姙娠中に驅虫することは爲し憎いからでございます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

また虚弱な人が終日裁縫などをして坐つて居ることは良くありません、其内半日位は田園の作業、お茶摘とか養鶏とか、それらのことをしますことが心身の爲になります。すべて何處にあつても弱いものにとつては、それ相應の仕向けや、衛生があるので、其方針を立てることが大切でございます。

月經時期の心得

十四五才から男女の性別が一層明らかになります其前後になると快活な處女がいつの間にか鬱々と沈み勝になり頭痛をしたり、消化器に故障が出たりします、此時は深い注意を要すべき時で、自分からもそれらしい徴候であることを知ることが出來ます。かゝる時には精神を疲らさぬやうにすることが大切です、無理な仕事や、試驗勉强や、多人數集會の中に出すといふやうなことはよくありませぬ。一體に月經期に際してそれを隱し立てして無理をするといふことは惡い習慣です、此點は學校教育でも改良せねばなりません。遠足や體操やらに際しては、生徒に申出しめるやうに仕向けねばなりませぬ。此の月經時期は病氣殊に風邪など引き易い素質になるのですから、其四五日間は心身ともに安靜にするやうにし仕事も成丈減らすやうにし、其減るだけを一月間の日程にふり當てて置くがよからうと思ひます。田園の仕事も遠慮して室内でやるのがよいのです。その手當としましては淸潔が第一です、お湯に入ることは自分のためにも、他樣の爲にもよくありませぬ、防禦セル脱脂綿等を用ゐて局所を淸潔にするのが何よりであります、從來のやうな詰紙といふことはいけませぬ、膣腔内に多く詰めますと腟中に於て血液が分解して害を及ぼすやうになります。
何と申しても處女時代は發育ざかりな時でございますので其の衛生上の心得も澤山ございますが、是等のことを主として守つて戴きたいのでございます

◎婦人衛生質問隨意

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

新しい帶と羽織の仕立方

大妻技藝學校長　大妻一惠

帶

今まで、帶をつくりますのに、表の布が何であつても心を一尺について三分ほどゆるめる、全體では三寸位もゆるめるといつてゐました、かうしますと、手なれた上手な人ならばよく出來ますけれども、地質を考へないでゆるめるものですから、下手な人がしますと、長くしめてゐる中にゆるんだりちぢんだりしまして、中の心がぶか／＼したり、袘が出たりします、それでいろ／＼に考へました結果、ゆるんだりちぢんだりしない樣に、初めから人工でちゞませてしまつておいたらよいだらうと思ひつきました。そして早速にさういふ風にして仕立てましたところ、大變都合がよろしくこれならば初歩の人にも出來ると思はれましたから、それを申上けます。それには、心をこしらへる時の注意から申上げます。

帶心のつくり方

帶心は大抵三河木綿か、帶心用として出來てゐるものか、又田舍ですと手織の木綿を用ゐますが、どれでも大抵兩耳がゆるんでゐますから、そのまゝ入れることは出來ません、それで、耳をなほすには、まづ心にする布をひろげて、その上に兩耳のゆるんだ所だけを出る樣に眞中のゆるんでゐない所だけの巾に切つた新聞紙をその上にのせ、その上から一面に霧を吹きますそれから強い火で火熨斗をかけて乾すと、耳がなほつて、平らになります。それから、も一度霧をふいて、五分か十分の間まるめておき、全體が生乾きになつた頃、も一度強い火の火熨斗をかけて棒にでもまいてお

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

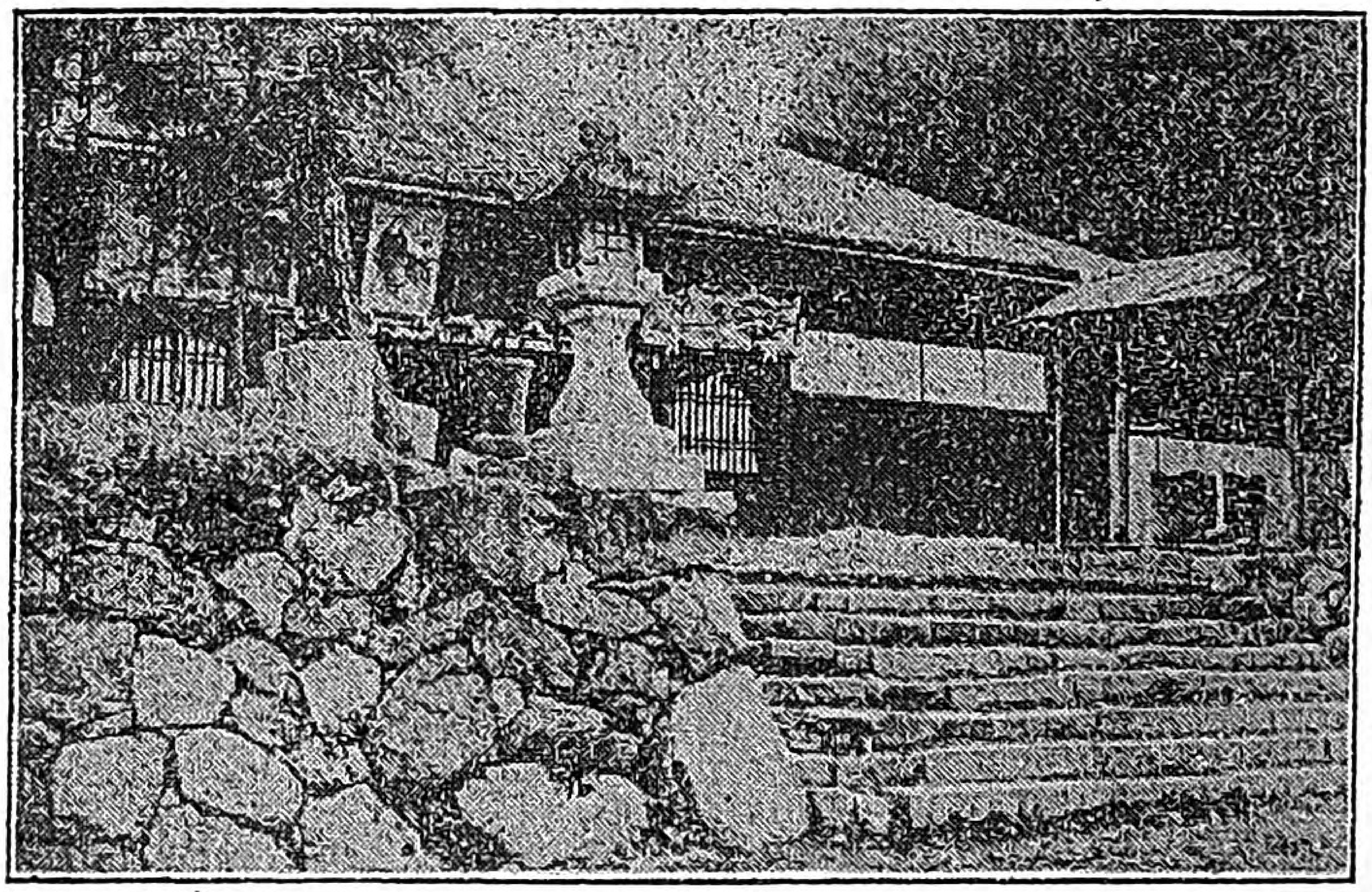
きます。

表布の直し方

表にもやはり強い火熨斗をかけます、初めは竪に布目通りにし、それから横にしてかけ全體がゝ終つた時に棒にまいておきます、かうしますと、物によつては一尺について三分位、少いものでも、五厘位ちぢみます、どんな物でも、着てゐる中にのびるといふ事はなく皆ちゞむのですから、初めにかうしてちゞめておけば、後になつて狂ひが出ません。

仕立方

帶の巾はその人の體につれて、肥つた人は廣く、痩せた人は狹くするのがよいのですけれど、經濟の方から言へば、初めには出來るだけひろくしておいて、角のいたむに從つて、一分づゝ縫ひこんでゆき、前の方のいたんだ所は內側の方を切りかへる樣にしてゆけば、二十年位はもつものであります。



苅萱堂（高野山上）

今までは、全體を半返しにしましたけれど、あれは却つて仕上りがよくありませんし、解く時の厄介が大變ですから、全體にこまかくぐしぬひにします、初めに布は皆ゆるみを直してありますから、少しもゆるませる必要はありません、巾のへらは、出來上りより一分弱ひろくしてつけます、四つの角のところは、眞四角でなしに少し縫代を少くなる樣に、斜に縫ひ出します。そしてここだけは、半返しにします。全體縫つてしまひましたら、折りは五厘弱、三四厘位かけます、すると、四つの角のところ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

は、自然と少しばかり澤山に折りがかかるわけになります。

心は、出來上りと同じ巾につくつておき、ぬつた表の上へ平らにのせて、とぢつけにかへします、それから躾をかけて二日間位重い押しをおき、躾をとつてしめます、かうすれば誰にでも仕立てられて、決して狂ひが出ません。

羽　織

これまでの羽織は、肩のくりこしが足りなかつたため、前巾が波をうつやうになり、衿が下の方で身巾ともにかへるやうになります、それをよくするには、これまで肩のくりこし（肩山を後へおくること）が二分でありましたのを、普通の人は四分、肥つた人や背の丸い人は七分位までおくります。これなら衿肩も、二寸あけて、七分の丸味にします。

それから、衿のかへりのよくないのは、もう一つ前下りの縫ひ方によります、前下りを縫ひますには、巾の中央に針を一本打ち、それから衿付の標の所までの間に裏を五厘ゆるめ、中央から脇縫の間で、表を五厘ゆるめます、かうしますと、衿をかへした時に無理がなくなります、それから、衿付を綴ぢる時には、表を一分出してとぢます。

衿をつけます時には、上から乳までの間は衿を充分にゆるめます、殊に衿肩まはりはよほどゆるくします乳の上と下と二寸の間で、衿を五厘つらせ、それから下は兩方平にして、下から四五寸の所までつけ、下四五寸の間で三分巾を入れ、衿を五厘ゆるめます。

又、初歩の人は、前下りをぬふ時に、裏を表へおくつたりせずに、標を後巾より、一分五厘だけ長くしてつけておき、へら通りにぬひます、かうすると表裏で二分のたるみが出來ますから、そのたるみを表裏をはゞ所で、裏を二分ぬひてみます。

なほ衿の心も初めに十分に霧を吹いて、ちぢむものはちゞませておいてから仕立てるやうにすると狂ひが出ませぬ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會中央部の工場巡廻視察講演

□工場と地方との連絡を媒介□

我邦勞働者の八割は女子にして其の約七割は地方の産なることは事實の示す所也、人口漸增し、耕地の開拓之に伴はず、地方婦女子の都會に他郷に移動するは理の當然といふべく健全なる都市集注は大にしては家鄕の爲なり、出稼といひ、工女といひ從來秩序なく、品位なきものゝ如く思惟せられたるは、過去の事にして、今や工場主の反省と工女の向上と相俟て工場の設備完全し、工女の面目を一新せんとす、我が處女會中央部に於ては一層この機運を促進すると共に、工女と地方との關係を調査し、相互の連絡を通じ、延ては處女會と氣脈を通じて工場の爲に女工の需給を媒介せんとす從來工場の不評判にして工女といへば一種の侮蔑を購ひゐたるもの、是彼の工女募集員の品性劣等なるに因するもの少からず、處女會中央部が、工場と處女會との間に介在して、優良なる工場に地方過剩婦女子又は出稼婦人を紹介するは、處女は固より父兄の安堵する所となり、工場にとつて亦益する所尠からざるべし。

□既催巡廻工場と申込工場

中央部の巡廻講演は本誌別項に記せるが如く、第一回を本所押上富士瓦斯紡績工場に第二回を同業平町三田土ゴム製造合資會社に於て行ひ、近く程ケ谷及駿河小山の富士紡績工場及東洋綿絲株式會社、東京キャラコ製造株式會社其他に實演せんとす、工場の改善、其他に關しては工場關係者に於て夫々發明創案する所あるべし、工女の修養向上殊に地方との連絡に關しては正に中央部の一使命たるべきを信ず、若し夫れ工女の産地たる地方に於ける處女を敎養し、工場に關する

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

智識を修得せしむるの必要に至つては、我等の多年唱道し來れることにして、今や地方婦女會到る處に於て工場の研究及視察に着手しつつあるは、邦家の爲に欣ぶべきこと也。

中央部工女媒介

□地方處女續々申込め□

三田土ゴム製造合資會社は本所業平町にあり、田崎兄弟の主として經營せる工場にして、資本家と職工と藹々たる情誼を以て終始し、感情のよく融和せるを以て特色となす、本年七月以來毎日曜日を定休日として修養慰安會を催しつつあるが如き蓋し工場として稀有のことに屬す、然るに紡績工場に比して、寧ろ特殊の作業に屬するを以て、工女に不足を來たしつつあるものの如く、仍て中央部は同工場重役と協議して左記規定に依つて地方より工女を募集し、之を工場に紹介せんとす、地方處女會は固より、本誌の讀者はよく父兄及指導者と協議して遠慮なく申込まるべし。

○工女申込規約

一、本人及父兄並處女會長連署の願書を出す事
二、將來の希望、工場に對する注文其他を本人自筆にて中央部に送ること
三、戸籍謄本
四、東京に於ける最も親しき親戚又は知己の住所姓名
五、病氣の有無、健康狀態

○女工待遇

一、初給日收　金六拾貳錢

内譯
- 日給額（午前七時より午後五時まで十時間）　金四拾五錢
- 殘業收入（午後五時より午後七時まで二時間）　金拾壹錢
- 米廉賣（一圓に四升の割にて一ケ月一斗賣渡）　補助一日割當金六錢

一、皆勤手當　一ケ月遲參早退なく皆勤の時は一日半の日給を支給す
一ケ月遲參早退なく一日の缺勤の時は半日分を支給す

一、保證金不要
一、旅費自辨（但立替をなす）
一、漸次昇給せしむ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女
哀話

都にあこがれて（其の二）

白雲生作

□

淋しい田舎の停車場に朝の一番汽車が着くと、風呂敷包み小掖に抱へて、あたりに氣を配りながら、あわてゝ三等室の片隅に乘つた一人の若い田舎娘がある。其がおきみであつた。

日頃あこがれてゐる東京へゆくといふ嬉しさは、始めての遠い旅の淋しさと恐ろしさに、打ち消されて、おきみの心は汽車の走るに從つて暗くなつた。然し流石に覺悟して家を出た乙女である。東京へいつていい務め口を探すまでは、どんなとがあつても歸るまいと思ふと、賑やかな東京の俤が眼の先にチラツくのである。新田のおふさの樣子も眼の前に浮んで來るのである。廣い東京だもの、死ぬつもりで奉公口探したら、私一人位は使つて呉れよう、彼女はいつの間にか兩手をしつかり組んで、我と我が胸を抱いて居た。

海岸のよい景色も、おきみの目には淋しく思はれた。乘客が窓を披いて富士山を仰ぎ眺めて居る時でも、おきみはうなだれて下を向いてゐた。長いトンネルに入つて、人聲も絶え、あたりがシンとして來ると、おきみは、深い暗い海の底へ沈んでゆくような氣持になつて、其の兩の眼は怪しく濕んでゐた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

軈て長蛇のごとき列車が東京ステーションのプッラトフォームに横づけになると、乗客は吐き出されるように下りて、續いて下り口へと急いだ、カラカラと下駄の音がつゞいた。この時やう〳〵たそがれとなつて、東京市中の電燈が星のようにキラ〳〵輝きそめた。

この大勢の人込みの中に混つて、あたりをきよと〳〵と見廻しながら、うつむき加減に下り口へと急いだのがおきみである。前夜の不眠と長い旅の疲れと不安とで顔はやつれてみえた。彼女ははじめてみる東京である。彼女は電車の乘り方も、方角も少しも知らなかつた。荒波に漂ふた木の葉のように覺束ないのは彼女の運命であつた。人力車夫は頻りに『どちらへ』『お乘んなさい』とすゝめた。然し他の停車場のような怪しい車夫は此處には居らなかつた。然し素人目にもみえる田舍娘の家出姿に異樣の目を光らせて『娘さん奉公かえ、いゝ所へつれていつてやらう』と、言ひ寄る車夫も居つた。おきみは高等小學校も卒てゐる。新聞雜誌をみて、東京の油斷のならぬことは知つてゐた。我と我が氣を引きしめて、こういふ車夫のすゝめに耳もかさなかつた。

彼女は夕暮の迫る東京のどこへゆこうといふのであらう。うすら寒い風が吹き寄せて、おきみの鬢のほつれを捲きあげた。

回

おきみの唯一の望みは、よい奉公口を求めることであつた。これだけ堅い決心と覺悟とが知れぬ筈はない、きつと誰かゞ何處かで使つてくれると信じてゐた。がこの時ふと胸に浮んだのは、本所にゐる伯父さんのことであつた。伯父さんはツイ二三年前人に勸められて東京へ來て今は疊職をしてゐることで、おきみを一番可愛がつてもくれ、よく知つてくれた。『おきみ東京へ來ないか』などゝ去年

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

會つたとき何氣なしにいつたことが急に稲妻のように胸に浮んだ、彼女は急に力強くなつた。『どうして來たか』といつて叱るにはちがひないが、譯を話せば相談にも乘つてくれよう。早く會ひたい。

『あのもし本所の業平町といふ所はどつちでせう』

叮嚀に頭をさげて聞いたが、田舍娘を滿足させるように、敎へてくれる人は一人もなかつた。おきみは電車通りを一人とぼ〳〵と歩いて又通る人に聞いた『本所は向ふだ、なか〳〵ありますよ』五十位の商人體の人がこう敎へてくれたのが一番深切だつた。あつちもこつちも彼女にはてんで方角もわからなかつた。中には妙な目付をし彼女を見返る人もあつた。疲れと空腹と不安とで胸が一ぱいになつた。

四度目に本所へゆくといふ深切な人に出會つて、彼女は其の人と一所に電車に乘つた、彼女はきよと〳〵して釣り皮にしつかとぶら吊つてゐた。どこからどうして何の爲に來なすつたかと深切な人は聞いた。親類を探して早くゆくようにと勸めた。東京には誘惑が多いからとつけ加へた。切符も買つて貰ひ、幾度か乘り換へもしたが、おきみは只その人の後ろにくつついて乘つたり下りたりした。その時始めて電車といふものゝ混むこと、後から來た人が女子供を推しのけること、お客の無作法であることなどを知つた。うつかりしてゐると、その人を見失はうとする。

此處で儂は下りる、お前さんも此處で下りなさい。

一所に下りると

『此處が業平町です、番地を知らなければよくその伯父さんの名前をいつて聞いてごらん、大抵わからうよ、儂し少し急ぐから。』

おきみは『ありがたうござんす』幾度もお禮を述べてその人の後姿を見送つたが、『あなたはどな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

たです』と名前を聞くほどの考へも浮ばなかつた。おきみは十八の田舎娘である。
おきみの捜す伯父の家は番地のわからなかつた爲に、容易にわからなかつた。彼女はもう六七度も人に尋ねたが知らぬ人ばかりであつた。その時ふと目についたのは、裏通りの『男女口入屋』といふ看板である。電燈の光りにさぐりよみをすると、男女事務員、店員、奉公、看護婦、電話交換手、乳母子守女、良家小間使――あらゆるいゝ職業の口が擇り拔いてあるように思つた。小間使、ふとお房の俤も浮んだ。おきみは、また上から見返した、しばらく經つと、暖簾を潜つて彼女の姿がその口入屋の帳場に現れた。

其家には男と女と二人ほど矢張り口を賴みに來たらしい人がゐた。女は十七八位な年恰好で、おきみの方を省みてはぢらふような樣子をしたが、おきみも間がわるいといつたように、うつむいた、男は相談がまとまつたらしく、暖簾を披いて出ていつた、やがて女の口の相談も出來たらしく、風呂敷つゝみに洋傘抱へ、いそ〳〵と出ていつた。振返つてピッタリ視線が出會つたと思ふ中に、暖簾が下りたので、双方吻とした。

風呂敷抱へて、こうして此處へ來る田舎女の心の中は、番頭には見え透くように見える。

『どんな所が望みですかねきいた。』

若い番頭が大きな帳面を繰り廣げながらきいた。

『何でもよいですが、出來るなら小間使でも――』

その着物とその顏で、小間使が、といふような顏して『へい、小間使かな』などひとり言いひながら、臺帳を繰り出した番頭の、蔑むような目つきは、初生のおきみには悟れなかつた。(あとこの次)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

富士瓦斯紡績會社

「押上工場をみるの記」

回女工一千六百五十二人

別項記載の主旨に基き、處女會中央部に於ては去る九月十九日第一回の工場巡廻視察及講演を、本所押上の富士瓦斯押上分工場に試みました。

此處には男女の職工が二千百六十四人居りますが、其の中女工一千六百五十二人の中、寄宿舎に居るものが千三百十八人、自宅から通つてゐるものが三百四十二人です、男は全體の約三割にしか當りません、糸とり工女とよく言ひますが、日本の工場と女子との關係は深いのです。

回東京はたつた七十三人

次にこの一千六百五十二人の女子を、地方と東京とに分ちてみますと。

東京府	七十三人（四分四厘）
地方	一、五七九人（九割五分）

といふことになります、然らばこの地方とはどの邊に多いかと申しますと。

秋田縣	四四〇名
宮城縣	四五五
青森縣	一九九
福島縣	一五九
新潟縣	一一四

次は茨城、山形、福井、千葉、埼玉などで三十名から五十名位であります、一般に關東、東北に多いのは

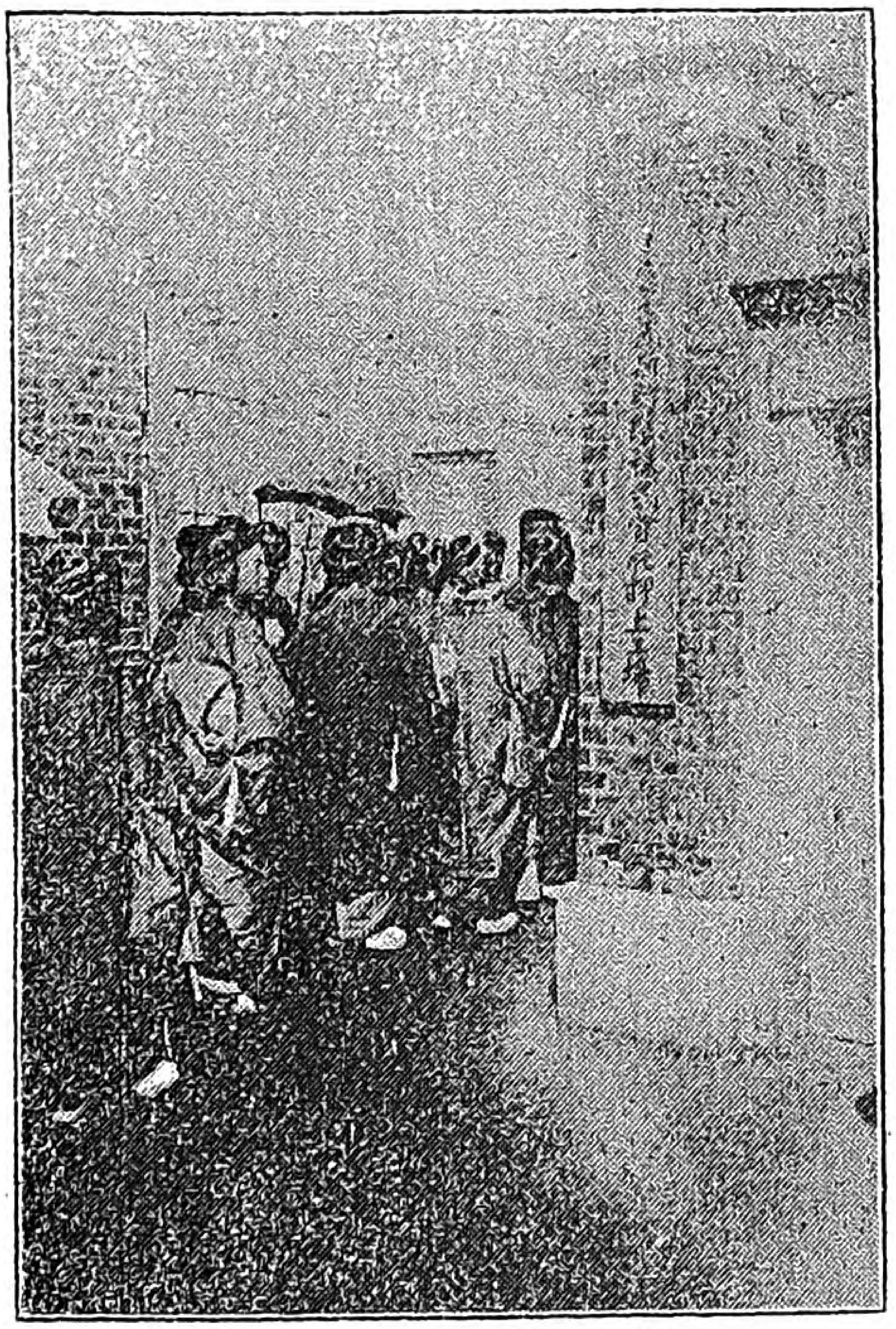
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

工場の關係に依ることで、其の代り大阪、名古屋、信州地方の工場には、中國、近畿邊の女子が多いのです。

回嘉悦女史はもと工女

處女會中央部が工場と連絡を取ることの必要はこの例を以てしても、皆様は御了解下すつたことゝ思ひます、尚引續いて東京府下の工場を巡廻する計畫ですが東京府廳の工場課長に伺ひますと、東京府下にゐます女子だけでザット十萬人、その七割乃至八割は地方の女子だそうです、わかり易くいへば、工女は、孝女、地方、處女會の支部です、殊にこの處女たちは、多く農家の娘でありますから、工女と處女會員とは姉妹です。

押上にゐます千人あまりの工女の中四百人ばかりに對して、中央部の理事嘉悦孝子女史は、お話しをなされました、女工さんたちは夜業もありかなり疲れてゐられたようですが、一時間あまりのお話しをよく聞いて下さいました、嘉悦先生のお話しも又有益でわかり易く、殊に先生が十一才の時熊本で女工となつて苦勞されたといふお話をなさる時は、一同シンとして水をうつたやうでありました。凡てのお話が生きてゐました。


鳥の郷婦人會の富士紡績見學

回田舎の娘そのまゝ

私は工女たちの様子をみまして一番感じたことは、地方處女會員そのまゝであつたことです、服裝といひ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

まじめなその樣子といひ、工場の中にゐるような氣持は起りませんでした。其も其筈、此處にゐる乙女たちはみんな田舍の娘ですもの、處女會のある所では、その姉さんや妹さんですもの、其にしても、質撲な可愛ゆいことゝ私はつく〲感じました。

工女を輕蔑したのは、昔のこと、今では工場と一所に女工さんも立派になつて來ました。此處では一ヶ月に四日お休みがありまして、その日には外出も出來れば活動寫眞もみられます、洗濯物も出來ます、然し會社ではこの休日をもつと意味あるようにする爲に、名士を招いてお話しを願つたり、面白い講談師を聘んだりしてゐます、さういふ所へ、丁度中央部が巡廻講演を始めましたので、大喜びだつたのであります。

回工女の品位の向上

寄宿舍も廣く、衛生の設備もよくゆき届いてゐます食堂は四百坪といふ大きな建物で、中には萬國旗が飾つてあります、庭も廣く、運動機械も備つてゐます、十二三才の幼年女工さんの爲に、可愛ゆい木馬……車がついて動く……のでありましたことも忘れません、山羊がのそり〱と遊んでゐましたのも長閑です。

手當は人によつてちがひますが、まづ普通が日給五十錢ですから月十五圓、其に夜業の手當が一圓五十錢、勉强の手當が三圓程ありますので、まづザッと廿圓、田舍娘でこれ丈貰へることはありがたいことです、食料は一日九錢といふ安いのもで、寄宿舍は無料、日用品其他は中に購買組合が出來てゐまして、安く賣ります、牛乳が一合三錢ださうです、通勤工女に對してはお米を一升二十五錢に賣つてゐます。その損は會社が負擔してゐます。

だから儉約をすれば毎月貯金も出來るし、親元へ送金も出來る筈です、親孝行の感心な女工さんもゐるさうですが中にはまたせいたくな不品行な女工さんもゐるさうです、貯金は寄宿工女だけで三萬五百六十一圓五十一錢(八月末)一人平均三十圓位になりませうか、一年又は一年半交替の女工さんとしてはエライ者です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

女の死に方

◇入水と精神錯亂と二十才が一番多い

大正七年度東京府下自殺者一覽表（男六五九人 女五〇五八）

方法	男	女
首くゝり	二六六	八五
入水	四五四	二五八
自刄	九三	三一
毒藥	一一七	六四
汽車	二〇二	六〇
電車	一五	三
ピストル	五	二
其他	八二	二

原因	男	女
精神錯亂	一三九	七五
重病	一六五	六九
心中	二二	一一
親族不和	三五	二〇
厭世	一五二	八二
生活難	五八	一七
痴情又は嫉妬	一五	一〇
離縁	九	八
私通妊娠	九	九

年齡	
十六歳以下	一二人
十六歳以上	七〇
二十歳以上	一五七
三十歳以上	八一
四十歳以上	四二
五十歳以上	一一五

◇入水は夏に多い

お前百まで、わしや九十九まで、足こしが立たなくなつてさへ、お天道さまを拜んでいゐたい世の中に、いかに廣い東京とは言へ、千百六十四人といふ大勢が、自ら死にたがるは不思議な世の中！、然し自殺とは言へ好き

東京を見學した婦人會員より

別項鳥之鄕村婦人會員は東京見學より歸つて早速夫々中央部へは挨拶狀を出して下すつた田舍の娘さんたちがこんなに喜んでくれたことは本部の滿足である、挨拶の二つ三つをかゝげる

手にとる鍬も輕く （〇〇子より）

拜啓此の間は色々とお世話になりまして幾重にもお禮を申します、群馬山家に住む私も先生のお蔭で社會の事を色々と聞きまして、家に歸つてからは畑に出て手に取る鍬も輕う動きます、皆さんとあの學校の二階でみたあの淸い月も、今夜は淋しき私の家をてらしてくれます、私は每日畑に出て夜は手習ふ暇もなくこの有樣の亂筆ですが、誠とある手紙と御よみ下さい先生どうぞ淋しき群馬にも來て下さい、其の時は會員一同で御案內致しますから（下略）

渡る世間鬼はなし （〇〇子より）

（前略）列車の中で先生のことや、大妻學校のことを皆さんとお話をしてをります、いつか列車は太田のてい車ばへ著いて居りま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

好んで死ぬるのではない、思ひ余つて死ぬ、その心の中をも、思ひやらねばならぬ。

今女にのみついてみると、一番多いのは水死である。昔から身投げといふは、よく小説にも講談にも芝居にも出る、日本國中、川はどこにも流れてゐます、目にも觸れ易くないといふので、昔から入水は流行つたらしい、袂に石を詰めて、浮ばぬ工風したなどゝいふことはよく聞くが、其でもきたいに浮き上つて土左衛門となる、女は土左衛門とは言ひますまいが。尙入水は夏に一番多いとは、よく考へたものである。

◎寧ろ自刄が勇ましい

文明開化の世の中となりて、汽車や電車が出來てから、水死は減つて、轢死が殖えたらしい、轢死は水死に比べると、早く始末がつくので文明的かもしれない、電車が少いのは、市中の賑やかな所で、人目が多いからと、救助網の爲に轢かれにくいからであらう。

次は首くゝり、是は身投げに亞いで多く、昔からよく物語りにもあつて物凄いものである、家の中でもやれば、外でもやる、松井すま子もたしか首くゝりだつた。次は自刄で三十一人あるが、多く剃刀か短刀、是も昔の物語りにもあつて、一番男らしい死に方であるが、臆病女にはとてもまね

した、するとそこには先生が二三人むかひに出て居りましたから、先生に話しましたら共々よろこびした、

それから家にかへつてお世話樣になつたことを話しますと、家の人々は昔の人のいふことにワタルセケンに鬼はなしといふて、有難いとたいさう歡びまして、それで其夜はやすみました(中略)地方の新聞にたくさん出てゐましたのは、おどろきと歡びであります。あまり字が下手にもんくがよみにくゝとも御座いましようがむ學の私とお察し下さい。

もう都にあこがれません

(〇〇子より)

(前略)工場に働いてゐます女工さんたちをみて何んとも言へない氣持になりました、私たちは仕合せであります、思はず涙がこぼれました。華やかな都の裏面には、あはれな婦人が澤山ゐるのですもの、先生、都にあこがれて居つた夢は、すつぽり去つてしまひました。

(強く優しくまじめに働け)と仰言つた先生の御教訓は深く身に泌みます、一言一句終生忘れません(下略)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

は出來ない、そこえゆくと、昔の武士の妻なんかエラかつた。乃木夫人も自刄だ。

毒藥は自刄より多く六十四人、是は外出も出來ず、汽車で死ぬ元氣もなく、內密に人知れず死なうといふ心から出てゐるらしいが、死にきれずに苦悶する例も多いようだ。毒藥はめつたに手に入らないので、鼠入らずをのむ女もゐる。

ピストルはたつた二人、是は簡便だからもう少しふえさうに思はれるが……。

◎女よ心を強くもて

こんどは死ぬ原因であるが一番多いのは厭世といふて浮世を果敢なむもの、その原因も、いろ／＼あらうが、厭世的の女ほどよく心して戒め合はねばならぬ、自分ひとりを淋しく、悲しく、哀れな、たよりないもののように思ひ、べそ／＼泣いて、その揚句が身投げか、鐵道往生、凡て浮世を果敢なむようなものは心が弱いのである。

次は精神錯亂まづ氣狂ひである、ふとせることから、カッとのぼせて剃刀を咽喉にあてたり、はだしで線路に飛び込んだりする、ソッツかしいはよいが、自殺のせつかちは困る、お嫁入の席で放屁したのを笑はれ、カッとして死んだ花嫁さへあるといふ、大正の女はもつと大膽になるんだ。尤も遺傳にも因るが。

次は重き病氣、是は一番氣の毒で、肺病にかゝり、子宮病にかゝり、何年と醫者にかゝつても、なほらず、家族はきげんがわるいし、お金はつかふ、いつそ……と死ぬ氣になる。尤も同情すべきはこれである。

次は親族仲のわるきことと、生活難、情死等あるが、女はとかく感情に走るもの故よく氣を落ちつけのぼせあがらぬ、修養が肝心だ。情死は俗に心中といつて物語りにもあり、自殺の方では美しい方で、鐵道往生なんぞ芝居にもならぬが、心中には泣かされる。心中の原因にもいろ／＼あるが、戀し合つた男女が親に許されず、晴れて夫婦になれのぬを悲しむのが一番多く、あの世で夫婦になると、かたく身體を結び合せて死ぬ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

る。結婚は男女の戀愛に出發するが本體であるから、二人が許し合へば、大抵の場合は親も大目にみるがよい。是が大正の新らしい親御ぢや。

私通自殺は男にもあるが、姙娠して死ぬるのは女に限る。『由比ヶ濱に年若き女の溺死體浮上る、女學生風の美人にして檢視の結果姙娠三ヶ月なり』といふような三面が毎日のように見える。

◎若い女よ心を廣くもて

天下晴れて姙娠すれば、母子共にお目出たくなれるのだが恐るべきは痴情である、年若き乙女よ、身をつつしめ。

次は年齢である、二十才から三十才までが多いといふことを、よく考へねばならぬ、男女別になつてはゐないが、この頃は、少女から娘になる時分で身體も心も變化する時であるから、心を靜かに、身を落つけて交る友を撰び、品性の向上を圖らねばならぬ。時候で言へば春の花盛り、蜂や蝶々が訪ねて來て、たのしい時代ではあるが、其れ丈危險も伴ふ、其に雨ふるし風もふく、よく父兄も心して、心神共に健實に發育するように手を引かねばならぬ、幸ひ處女會も出來てゐると故、娘同志互に戒め合ひ、勵まし合ひ、女同志凡てを打ち明けて相談してほしい、處女時代を無事に通りぬけ、花嫁となつて實を結ばねばならぬ。

◎田舍はいかに

さて今の統計は東京府下のみのことで、地方のことはよくわからぬが、流石に田舍は閑靜で、平和で、氣がのんびりしてゐる上に、汽車電車も通らず、毒薬を賣る店もなく、生活難も少く、早婚の上に、親御が氣を利かして、合理的な自由結婚も行はれるので、自殺は非常に少い、都會は人生の墓場だといふが、實際である、田舍の娘は、ゐられるものなら、田舍にゐることである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

◎拾つた栗を元に還した石田梅巖先生

伊藤扇峯

前々號の本誌第十四頁に載せてある石田梅巖先生の「親孝行のお手本」に石田とすべきが石川となつてゐるのは、全く活字の誤植であります。石田梅巖先生は江戸中期に於ける道德家で、心學の元祖であります。心學とは儒學を通俗にして童幼の婦女にも理解し易くした敎であります。

□

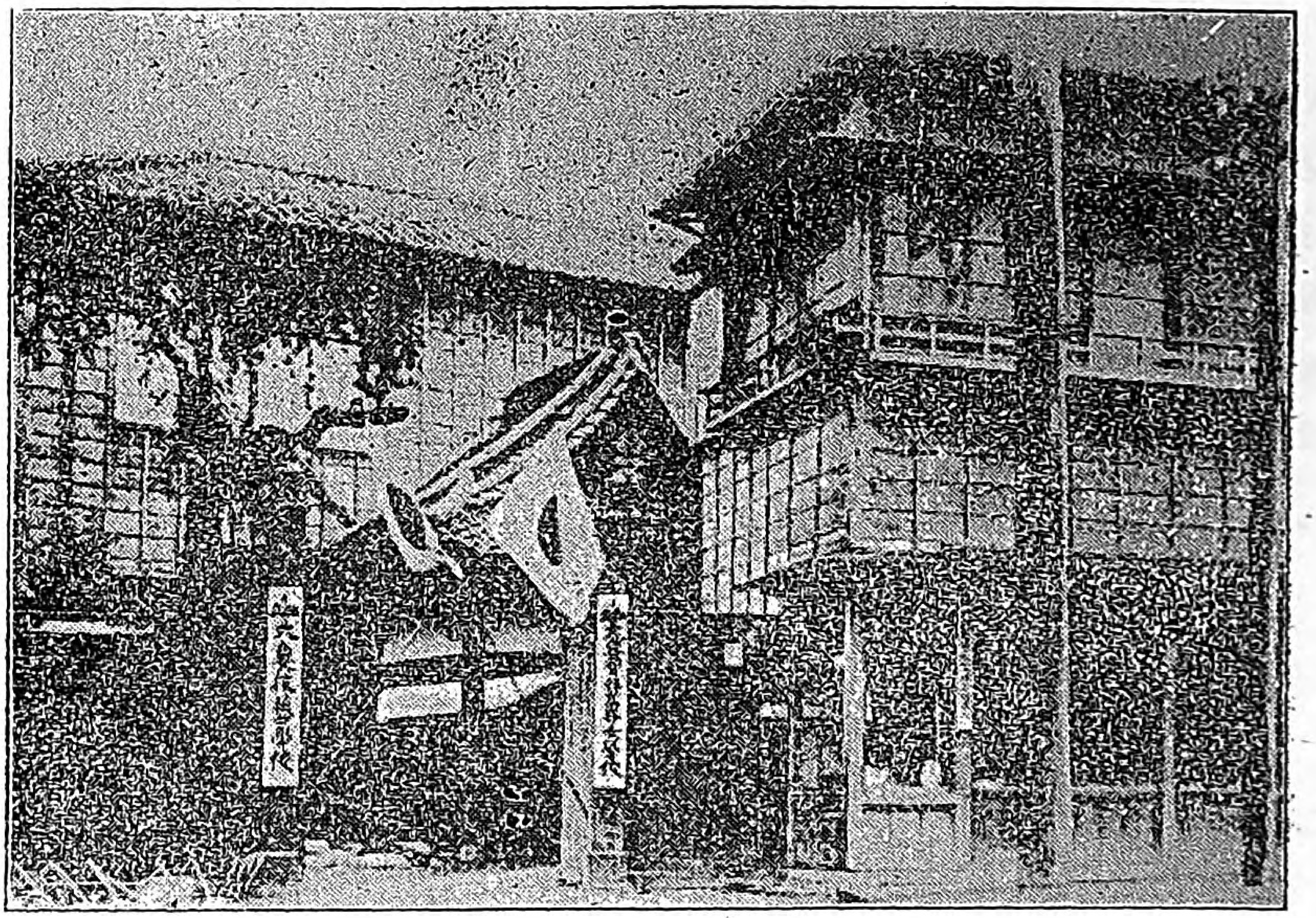
梅巖先生は通稱を勘平といつて、丹波國桑田郡に生れ、後に京都に出でて道を弘めたのですが、先生が如何にして斯かる偉い人になつたかといふと、それは全く家庭敎育のお蔭です。先生のお父さんといふのが非常に義理堅い人で常に子女の躾に注意してをられた。嘗て梅巖先生の十歲許りの時、丁度秋の末で栗拾ひの好時節であつたので、先生はお父さんの持山に入つて栗拾ひをされた。丹波は御承知の通り栗の名所です。處がその隣の山は他家の持山で、栗が多く兩方の山の谷合に落ちてゐた。先生は何の心もなくその栗を籠に一杯拾つて家に歸りさも手柄さうにお父さんの前に列べられた處、お父さんもその澤山なのに驚いて「よくまあこんなに多く拾つたものだ何の邊から拾つたか」と尋ねた。

□

先生は「谷で拾ひました」と答へた、するとお父さんは不機嫌な態で「それは不可ぬ谷合であれば自宅の山からも隣の山からも栗が轉がり落ちる、して見ればその栗を皆拾つて來るのは善くない、半分は他人のものだ他人の物を無斷で拾つて來るといふ法はない、還して來なされ」といつて、折角拾つて來た中の半分は時を移さず態々元の谷へ還しに遣られたといふことであります。

之は一の逸話に過ぎぬが斯やうな嚴格な家庭敎育を受けられたればこそ偉い人になられたのであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



島之郷婦人會員に一夜の宿を貸せられたる大妻技藝學校

婦人團の東京見學

＝群馬縣新田郡島之郷村婦人會＝

一日（富士紡績―淺草―上野公園―教育博物館―女子高等師範節米講習―靖國神社參拜―大妻技藝學校泊（懇親會薩摩琵琶―十五夜）

二日（學校修養會―二重橋拜觀―內務省―大臣室參觀―局長挨拶―東京驛乘車有樂町下車―日々新聞見學―日比谷公園―貴族院―銀座―三越見物―歸鄉

引率者―島之郷村小學校長（婦人會長）齋藤熊雄（外二名）

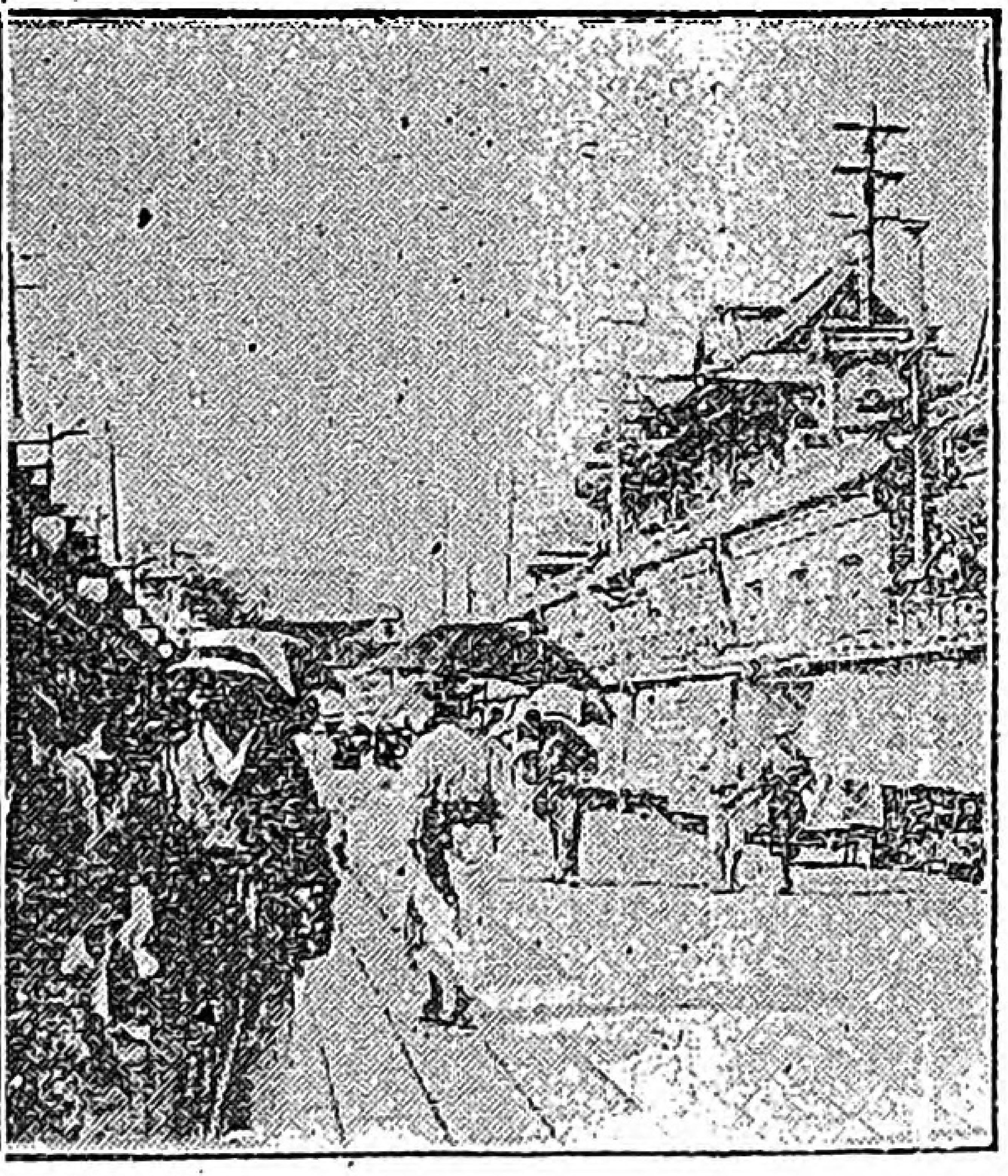
會　員―島之郷村婦人會員伴場しげ外四十二人

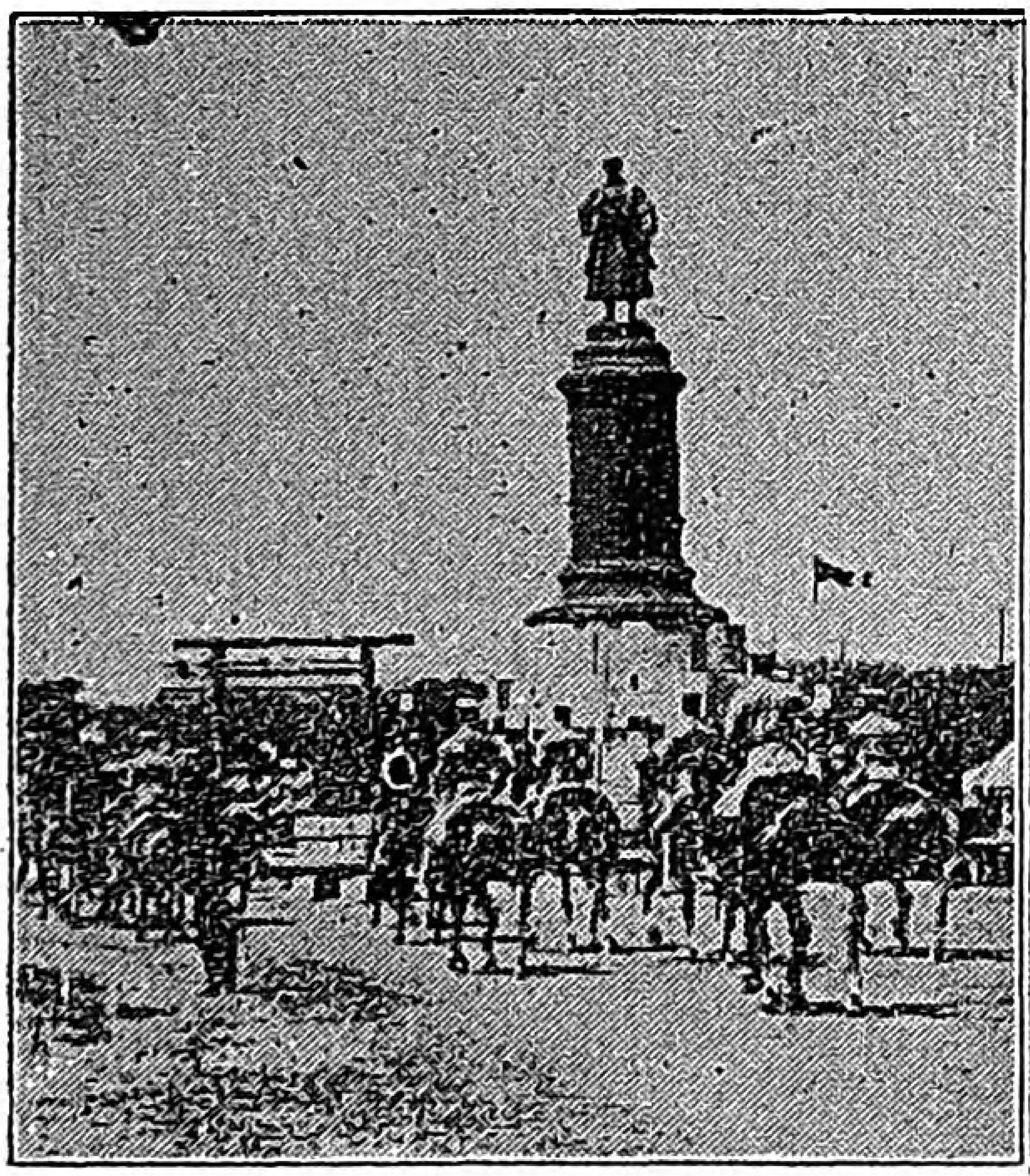
愛導者―處女會中央部

（一）淺草停車場へお迎ひに

ゆふべの雨が名殘なく晴れて日本晴の上天氣を喜びながら淺草停車場のプラットーホームに待てゐると、八時三十分、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN


淺草仲見世


九段靖國神社

列車は煙を吐いて走つて來た、一人の老人の後から娘さんが大勢ごや／＼と下りる『あなた方は鳥之郷の婦人會員？』ときくと『へえ左樣……』その中會長齋藤さんと握手を交し、二列に列んでプラットーホームを出ると、新聞社の寫眞班が大勢待ち受けてゐる。

會員は四十六人、十六七歲から二十二歲までの處女たちで色つやもよく快活である、簪一つ挿さず、質素な服裝が先づ案內者の心を惹いた。

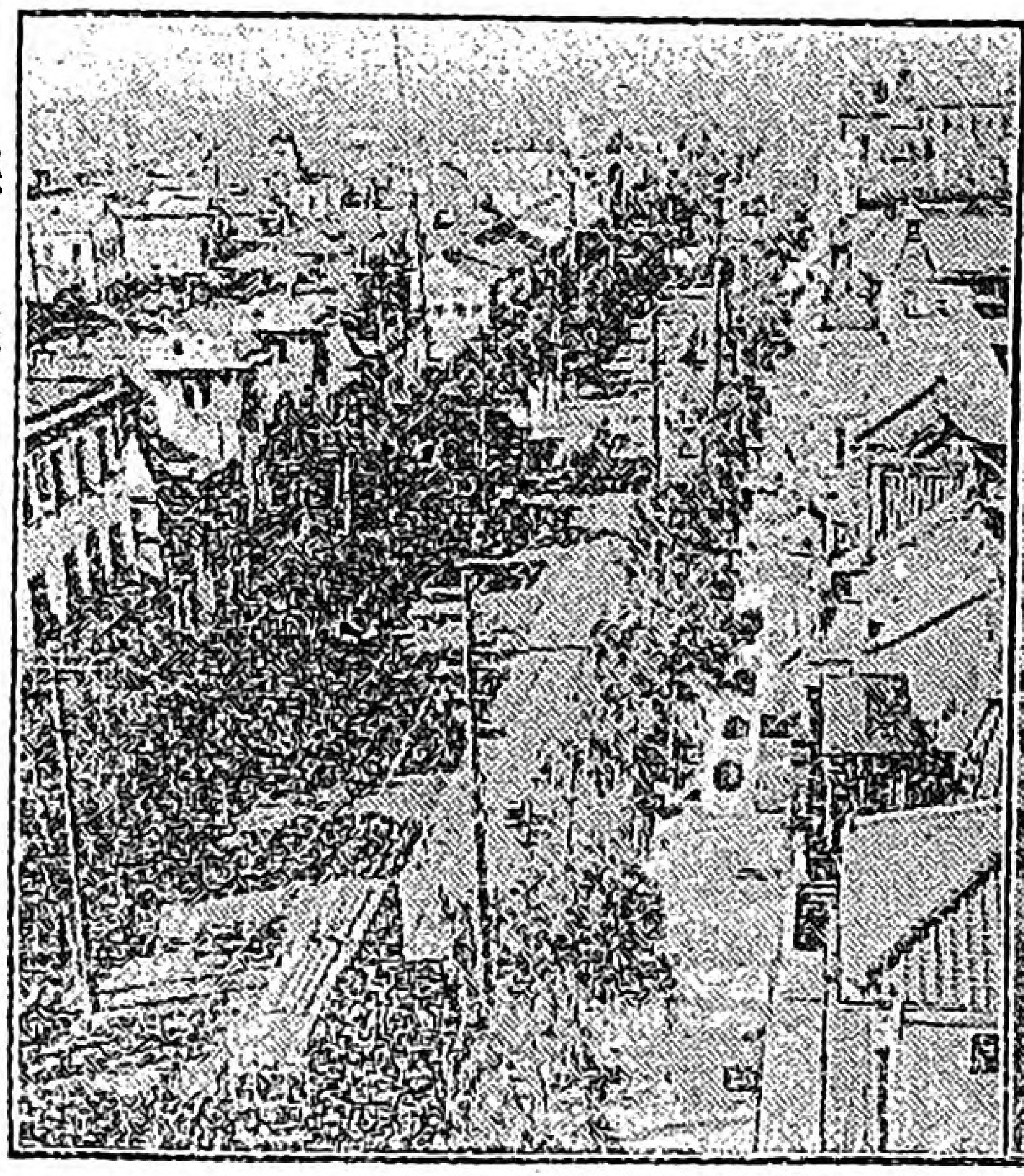
（二）赤坊のハンモック

先づ本所押上の富士瓦斯紡績工場を訪問し、（別項をみる）佐々山、辛島兩氏の案內で工場を隈なく見學した、（別項をみること）女工一千六百五十二人の中九割五分卽ち一千五百七十九人は地方の娘であることを知らせ、工女と農女との姉妹なる所以を話す、炊事場、寢室、浴場、娛樂室から託兒所をみた、工女の赤坊がハンモックに乘つて遊んでゐる所は處女たちの心を惹いたらしかつた。白い着物を着た病氣の工女が、窓にもたれて何か歌を唄つてゐたるも淋しかつた。樓上で茶菓の饗應を受けて十時出發。

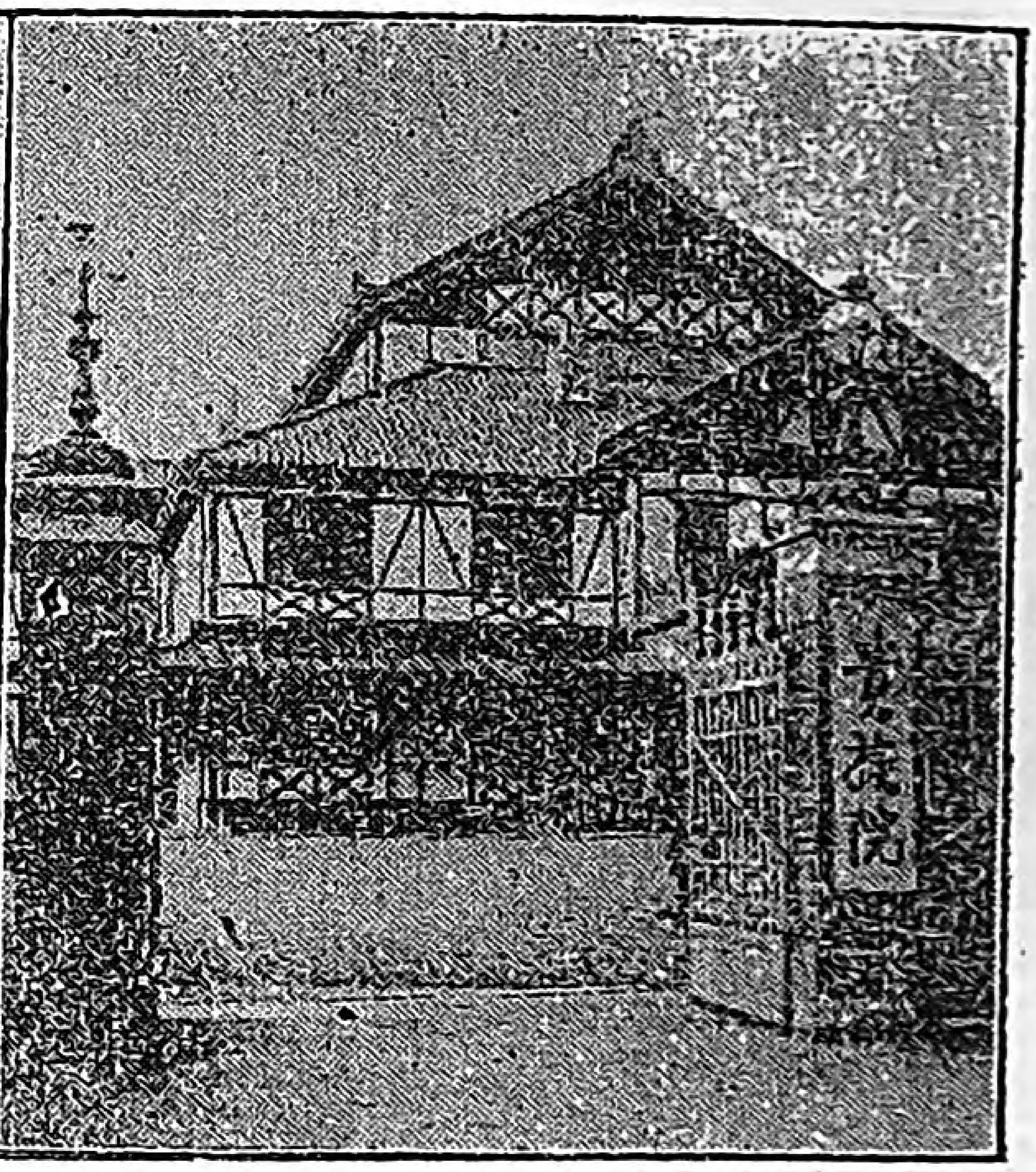
三　動物園のお猿に象

隅田の流を見渡しつゝ、あづま橋を渡つて淺草に出で、觀音堂に參詣して

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



銀座通り



貴族院

郷土の平安を祈り、綾雲閣を仰ぎながら公園を一週し、活動寫眞館通りを拔けて雷門に出る『「東京」の俗な所、人出の多い所、地方の處女の誘惑される所、東京の不良少年のゐる所』と說明すると、處女の一人が笑つてゐた電車にギッシリと詰まつて上野公園へいたのが十二時、西鄉さんの銅像の前の茶やでお辨當をたべてゐると、又も寫眞班が來てレンズを向けるお腹をこしらへて動物園へゆき、象やラクダをみて、其からお茶の水の敎育博物館にゆく。

四　靖國神社參拜

棚橋館長は館内の出品物について一々說明をして下すつた上に、別室に於て活動寫眞をうつして下すつたことは、一同の非常の喜びであつた。其からお隣りの女子高等師範學校に、折柄開催中の代用食混食の講習會を見物し、疲れたから電車で九段上まで。

夕ぐれ靖國神社に參拜して其から大妻女子技藝學校へ向つた、是より先き同校では校長夫妻は、固より全校生徒殊に寄宿生などは、前夜から寢むらずに、見知らぬ遠來の珍客を待つて下すつたとは、實にありがたいことで、都の女學生が、こんなに鄙の娘を愛して下さらうとは思はなかつた、

「ごはんの御馳走になつて、其から風呂に入つて疲れを癒やして、ふと空

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

を仰ぐと十五夜の明月。

五　女學校でお月見

とし毎に十五夜はあれど、旅に出て見知らぬ女學校の寄宿舍にお月見をしようとは、處女たちの夢にも思ひ浮べぬことであつたらう、校長御夫妻は子の如く愛し慈まるゝ生徒と共に、この明月を幸にと、お月見を兼ねての茶話會を開いて下すつたことは、一層の深い思ひ出であつた。

この學校は畏くも山階宮殿下の御屋敷跡で校門は華頂宮樣の御門を賜つたである。このように、尊い歷史を有する學校は少いことで、地方婦人會員の第一回の見學旅行が、此處に一泊を許されたことは寔に光榮であつた。

校長御夫妻のお話、本校理事甫守謹吾先生のお話、小倉幹事のお話皆有益にして適切、一同深い感じに撲たれた、其から生徒方の、マンドリン合奏、お琴、其から大塚先生の琵琶石童丸は哀れに乃木大將は悲しく勇ましく、處女は袂を絞つた。月は皎々と中天に冴えて叢の秋の虫も、寢らずに歌つてゐる。思ひ出深い十五夜のこの淸く溫い會合の印象は處女たちの生徒忘れることの出來ないことであらう。

六　二重橋—內務省—貴族院

今日もまた拭ふが如き上天氣、一同は生徒と共に講堂に集合し、金剛石のお歌を唱ひ、校長の訓辭を伺つてこの思ひ出深き學校を後にした。お濠側より參謀本部の横を通り、皇居を禮拜し、天壤の無窮を祈り奉つた。

其より誠忠楠正成の銅像を敬ひ見ながら內務省に出頭し、地方官會議室に牧野囑託、川西事務官のお話を伺ひ、神社、土木、衛生、地方の各局を見、特に大臣室にて添田地方局長にお目にかゝることが出來たことは一同の大喜悅であつた。其らか東京驛、日比谷公園貴族院、三越等を見物し夕暮の十六夜の月に送られて一同無事に歸途に就いた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

都の女學生と田舍の婦人會員との握手

＝大妻女子技藝學校と群馬縣新田郡鳥之郷婦人會員＝

■婦人會處女會は田舍の女學校

田舍に生れ、農家に育てば、鍬もち、鎌もつが家の爲、身の爲、漁師町に生れ漁師を父母にいたゝけば、船に乗るが子のつとめ、町の商家の娘は子供の頃からお店へ出てお客に接するが親孝行、お役人の子は、お父さんの代理してお役所へお辨當もつてゆくが家の手助けといふもの、凡そ人と生れて職業に貴賤はない筈、本氣でまじめに働く人が貴いといふことは皆樣の夙に御存知のこと。

學校もその通り、町のお孃さんは、畑に出て耕作したいにも畑もなし、稻田がなければ刈入も出來ず、自然と女學校へ入つて勉強なさる、夜は母さまのお伴してお芝居にも參りませう、然し田舍の娘さんは忙しい、五穀野菜のつくりから家事から子守から猫の手までも借りたい位、どうして女學校へ通つてゐられませう、仍で朝から襷がけで野良に出稼ぎなさる、肥料まで舁ぎなさる、車まで牽きなさる、そして時々婦人會といふ女學校に通ひなさる。會員は生徒です。

■女學生と處女會員とは姉妹

都の女學生が女學校にゆくも家の爲、身の爲、わかり易くいへば、お嫁入りの支度をしてゐるのです、婦德を養ひ、婦藝を練りよいお嫁になる準備をする爲です、田舍の娘さんの野良に働くも、家の爲、身の爲、村の爲、こう考へると兩方ともたふとい娘さん、お孃さん、只都のお孃さんは毎

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

日學校に通ひなさるが、田舍のお孃さんの學校は處女會、婦人會で年中でない。

所が今まで女學校の生徒は田舍の娘さんたちをみると、野暮だとか、赤毛布式だとか、着物がをかしいなんかといつて後ろ指さしたりするものがありました。又田舍の處女會員は都の女學生をみると、何んだか恐ろしいような、はづしいような氣がして小さくなります。そして『私たちは不仕合せだ』と悲しみます。

私はなんとかして、この兩方を仲よく睦ましく握手して欲しいとは、多年の望みでした。田舍の娘とても尊い人の子、たとひ自織りの着物きようとも、泥にまびれてゐようとも、淸い心に變りはない、淸い心の持ち主に貴賤上下はない筈、都のお孃さんは學問に於てはすぐれてゐませう、然し勞働の學問に於ては叶はない、してみると、一長一短どちらがエラクもへぼでもない。

圖蒲團をぬいで婦人會員に

こんど群馬縣鳥の郷村の婦人會員が處女會中央部を賴つて東京見學に來ましたが、寄宿舍がないので泊めることが出來ない、さうして旅館は不經濟でもあるし、爲にもならない、思案にくれて豫て御懇意に願つてゐます大妻女子技藝學校に御相談しますと、是非學校に泊つてくれと御深切のお言葉でした。吻と安心して八日の夜一行を案內して學校に參ると、先生は固より生徒たちの心からなる厚きもてなし、見知らぬ田舍の會員を姉妹の如く愛して下すつた、固より是は平素からの先生方の御訓育にも依りませうが、生徒たちの愛に富んでゐるのを嬉しく思ひました。

聞けばその夜の夜具は、よそから借りて來ては虫がゐたりしてよくないからといふことで、生徒たちが一枚づゝ夜具を脱いで其を田舍の姉妹に分けて貸して下すつたといふことであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

湖の傳說 片葉葦 (續)

畠山敬子

その翌日から、御僧の姿は再び池の面に見られました。それと共に、對岸の葦の間には、美しい誘惑をもつ、微妙變化きはまりない音を吹きとほす魔女の姿が見られました。けれども、魔女のふく笛の音が、一日と美しく、日一日とやるせなげになつてゆくにつれ、水鏡にうつる御僧の御姿はいよ／＼尊さと神々しさとを增すばかりでした、かくて幾日かの後、遂に御僧の姿はこの池のほとりから消えて、永久に光りかゞやく、一樣の繪が殘されました。魔女は、その後も、池に來ては笛を吹き／＼しました、そしてどうしても御僧の心を誘ふことが出來なかつたのを口惜しがつて、自暴になつて、葦の片葉を摘みとり摘みとり、すつかりの葦が皆片葉になるまで、笛を吹きならしました、けれども、もうどんなに騷いでも、池を去られた御僧の御心には、その笛の音は、とゞく筈もありません。

鏡が池には、今も尙、片葉の葦しか生えてゐません。それは、魔女が、『この池には、片葉の葦しが生えないだらう』と、口惜しまぎれに呪つたためだと言ひつたへられてゐます。この御僧は、弘法大師だともいひ、或は親鸞上人ともいひます。(完)

新米の小包

小包が來てゐますといふので、開いてみると、小さなお茶の鑵が二つ、一つには柴栗と、一つは新米、差出人は廣島の新庄女學校の河本河野兩孃、お手紙をみますと

この栗は山にいつてとつたのです、形はみにくうございますが、食べるとおいしいのです。

其から一千尺の高原の秋景色を面白くかき「先生、我丘の田も收穫にかゝりました、田植からけふまでの丹精は容易でありませんがかうして黃金色にみのつてゐます稻穗をみますと、何んとも言へない感じがします姉妹たちと一所に少しばかりとり入れましたから新米を少しお目にかけます」

九月央にもう新米が出來たとは、早いことその翌く日私はお粥に煮て貰つて新庄の野を胸に浮べながら返事した、

「一ツナイフでむいてたべたたいしかつた、また一ツまた一ツあたりはごみだらけあとはゆでゝ貰ひませう、初ごめは珍らしいお返禮には何をあげませう、二人の妹さんたちの顏をいろ／＼想像してゐます、寒くなりました然ししづかに考へて働くによい時です、つとめ勵んで下さい。」

河本里のさま
河野豐子さま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女新聞社

とり入れ

田舍はとり入れに忙しいでせう。豐年祭りはすみましたか。豐年踊でお宮は賑つたでせう。野が富まなければ町は明るくなりません。今の都會は雜然とゴタ／＼してゐます。

秩序があり、されど、人情も溫く生活が安樂であるといふ樣でなければいけない。其には町の水源たる田舍をきれいにしなければなりません。

處女會訓

「強く優しくまじめに働け」といふ處女會中央部の會訓はたいへんよい教へであるといふことで、方々にひろまりました。もつと／＼ひろめて下さい。尚額にしたいと思ふ會では、紙と小包料とを送って中央部へよこして下さい。理事の方々がかいてさし上げませう。處女會の事務所にかけて置くとよい記念です。

節米の講習

お茶の水の女子高等師範學校に開かれた代用食混食の講習會の二日目の晩處女會中央部は、講習員二百餘名に茶菓を呈し、中央部會則及處女の友を一冊づゝ進呈しました。當日中央部からは嘉悦、山脇、三輪田、吉岡、福島、田所、天野諸氏が出席して接待しました。

取次

皆様の中で東京市の發行の書物が御入用ならば、本部で取次いであげます。定價に郵税を加へて振替で送つて下さい。品物のお取次も致します。

寄附

評議員三輪田元道氏から二十圓女子大學の諸井さまから一圓五十錢御寄附がございました。厚くお禮を申し上げます。尚中央部が出來ましてからの諸氏の御寄附は近日中發表します。皆様が多大の同情を表せられることを感謝します。

笑話

主人「この頃内務省でも節米をすゝめてゐる、馬鈴薯をごはんに入れたり、さつま芋を食べてごはんの代りにしてゐる。お前たちもせい／＼倹約して何かごはんに混ぜておたべなさい。」

番頭さん「お隣りの家ではごはんに鰻を入れて昨日食べてゐましたよ」

中央部改正

處女會中央部は近く理事會を開きまして理事の改選をすると共に、內部を改造し大發展をすべく目下計畫中ですがどんな方が理事になりますか、どんな事業をしますか、大きな目をあけてみて下さい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

懸賞處女文藝募集

第一種

作文　題隨意（三百字以內）
和歌（題隨意一人三首）
俳句（題隨意一人三句）
考へ物
習字（半紙一枚六字）

第二種

處女會の寫眞
田園生活の感想
有利なる副業內職
內地篤志婦人の事績
田舍より見たる都會

第三種

處女俱樂部（はがき一人一題）
衛生問答（一人一問）
處世問答（一人一問）

○處女會中央部事業

一、地方處女會の發達を助け未設の地方に其設置を奬むること
二、副業を奬勵すること
三、中央に於て處女會指導者の爲めに講習會及講演會を開くこと
四、地方處女會の爲めに育兒衞生、禮法、看護、割烹等の巡廻講習會を開くこと
五、地方處女會の依賴に應じて講師を派遣すること
六、地方婦人に適する圖書を發行し又は圖書雜誌の選擇紹介をなすこと
七、職業紹介部を設け上京する地方婦人に職業を紹介すること
八、相談部を設け人事其他に關する地方婦人の質問に應ずること
九、旅行見學等の目的を以て上京する地方婦人及處女團體に對し宿泊案內其他の便宜を圖ること
一〇、婦人勞働問題工女問題及び職業問題等に關する研究調査をなすこと
一一、中央及地方に於ける慈惠救濟團體と連絡を保ち主として不幸なる婦人の救濟をなすこと
一二、不幸なる境遇にありて誘惑せられんとする地方婦女を未然に救濟すること
一三、成績優良なる處女會の選彰を行ふこと
一四、孝女節婦其他の善行者を表彰すること
一五、以上の外地方婦人に關する各種の調査及研究をなすこと

◎前號考へ物の答

十月號考へものゝ答は左の通りです
十三の國とは十なる三をさと呼びて土佐の國。二十三の國とは十を二つでとう／＼三をみと呼びて遠江の國。
例により正解者多數中につき抽籤致しまして左の方々を當選と致します

△朝鮮慶北慶州郡[illegible]內東部　古川たつみ
△滋賀縣蒲生郡[illegible]村蛇溝　辻ツサ子
△福島縣安達郡戸澤村南[illegible]澤　大内サメ
△廣島縣深安郡春日村浦上四　藤井チキク
△千葉縣印旛郡八生村大竹　加藤きく
△福島縣安積郡[illegible]川村　菅野好子
△靜岡縣富士郡須津村　小野きん
△同縣同郡同村　鈴木とも

○新考へ物

一の字を二度よむと織物の名となる
締切　十一月十五日

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

十五夜の月に泣く娘

＝故里戀しく橋にもたれて＝

＊

『私事先日此方に參りまして〇〇樣に御厄介になつてゐます。御安心下さいませ。』といふ手紙を受取つたつは、八月のはじめでありました。みよ子は靜岡の富士山のふもとに生れた處女會員で、小さい時から苦勞をした娘で、東京へ來たいといつてよこしましたから、東京の世智辛いこと一人娘の旅はけんのんであることをよく知らせて思ひとめゝて居りましたが、思ひ切つてとうとう來たのでせう。然し〇〇樣は東京でも名高いお家（お金持でなく、立派な方）ですから私は安心して居りました。

其にしても、みよ子はどんな娘でせうか、合つてみたくなりましたから『近くたづねますから、よくつとめて下さい。』と私は返事してをきました。

＊

すると先頃長い〳〵手紙が來ました。

拝啓　先日は失禮なる御手紙いだし申譯これなく候又色々御親切に御さとし下れましたる御事かされがされ御禮申上候。次に私も實は父なき身とて看護婦を希望致し居り候。それは父は死すとき、三十五歳に御座候。實は人にも話せぬことに候へども死する時にあまり長きわづらひに、お金を借り申し候て私はどうかしてお金をかせぎ出すよう致し候、人は神樣の御助けによるものに候へば、人を助けることを思ひ立ち、立派なる看護婦と相成候て、大に日本病人のことを研究致したく候も、幸ひ文學士〇〇樣のお宅に奉公をつとめ居り

身を泣かせて女中

を致し居り候。未來は立派なる人物に相成りて何も國の爲めに御座候へば、一層奮鬪致す考へに御座候。看護婦は心をみだすことを人から聞き候へども、私は心をひきしめればよく候。失禮なる私のことのみ申上げ候へども、〇〇村（みよ子の生れた村）の處女會にては、今度敬老會を八月より開き申し候、愈々發達致すことと思ひ申し候、「處女の友」は〇〇先生にお話致し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

て發行所よりさゝこに致し居候。
次に私この間の十五夜の夜あまりの月のよきに橋の所をさんぽ致し居り候て、自然自分の事が心にうかび次の樣なる歌をよみ申候

はま千鳥かよう心の戀しさよ
何をたよりに海をゆくらむ
こひしさのぞきみろかな故里の
かすかに見ゆる富士の高根を

この歌の意味をおさり下されたく御察し下されたく候、先は一寸失禮まで拜具

*

文章は拙なくなりますが、心そのまゝが出て、私はなんだか胸が一ぱいになりました。あゝみよ子よ、まだ會ひませんが、あんたはきつとまじめないゝ娘さんだ。その中きつとたづねしますと、私は心の中でみよ子に話しました。
あすこからは、富士山のいたゞきも少しはみえませう。十五夜の夜に富士をみて「故里を思ひ出し、橋の欄干にもたれながら、ヂッと涙ぐんで立つてゐるみや子の顔が當分の間私の頭にチラつきいとれませんでした。

*

二三日經つてたづねました。やう〳〵さがし出し、『こちらは○○樣のお宅でムいますか』『はい、主人は只今不在でムいまして』奥さんが赤ちやんを懷いて奥からゐらつしやつたので『いえお宅に御厄介になつてゐますみよ子をたづねて參つたものでムいます』『あゝあなたは○○さん、先頃からあなたのお話を致して居りました。只今一寸買ひ物に參つて居りますがどうぞこちらへ』
奥さんから伺ひますと、みよ子は優しくまじめて働くいゝ娘で、子供をもよく可愛がり、正直もので、大へん御主人にもお氣に入つてゐるとのこと、私まで鼻が高うございました。處女會員から女中や、工女になれば、他のものより立派なわけです。

*

その中みよ子は歸つて來ました始めて合つた彼女は十七にしては大柄の、やさしさうな、まじめないゝ娘でした。處女會にも便りをしてゐました。いろ〳〵お話をして下さることや、奥さまの親切にして下さることなど、彼女は涙ぐんで話しました、私は安心しました。私は『渡る世間に鬼はなし』とつく〴〵感じ、尚よく精出して働くようにと心づいたことを申して、夕のごはん時でしたので、お暇を致しました。
私は電車の中で、みよ子の幸を祈りながら家に歸りました（白雲）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會が活動寫眞となる

本年十月三十日から明年一月三十日までお茶の水の敎育博物館で生活改善の展覽會が開かれることは新聞紙にも出てゐたので、皆樣の存知のことゝ思ふが、文部省に於ては開期中生活改善社會敎育に關する活動寫眞を作つて其を時々開演して社會改善に資したいといふことで、敎育活動寫眞師の牧野省三氏に其の撮影を囑託された、この相談に牧野氏が私の所に來たので地方處女會の活動振を寫したらばどうかといふと、其は面白い撮影しようといふことになり、改めて敎育博物館長棚橋源太郞氏と協議の上之を決定し、遂に左記兩處女會を撮影することになつた。

廣島縣沼隈郡千年村及山波村處女會(九月二十三、四日掲載濟)

三重縣志摩郡答志村處女會(十一月上旬)

地方處女會の活動ぶりが、活動寫眞にのつて東京に於て殊に文部省主催の展覽會に於て東京全市民の前に公開されるといふことは、實に處女會の名譽といふべく、中央部も亦鼻が高いのである。

尙この兩處女會の實寫以外に私にも何か作つてくれといふことなので「都にあこがれて」といふ一齣を作つてみせた所、是は面白い撮影しようといふことで、館長とも相談の結果、十月下旬技師一行は京都より入京する筈で、是は處女哀話として處女の友に大體を紹介することにした(あまの)

活動寫眞をうつす記

廣島縣沼隈郡視學　高橋泰一

拜啓益々御清榮奉賀候、去る二十一日花房、金森兩技師來郡同日午後能登原(千年村一部落)に赴き、萬事行事に就て打合せをなし、其の夜は阿伏兎觀音堂に一泊致し、翌二十二日午前中阿伏兎觀音

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

及處女の疊表製作業を撮影致し、十一時會場出發午後山波に赴き、處女の海濱作業をうつし、その夜は萬事打合せを了し、同地に宿泊翌二十三日愈々山波處女會を催うし

▽教育召集のもとに

會員の檢閲點呼、試問、訓辭、を首めとし、マッサージ實習、節米(馬鈴薯飯)割烹實習並來賓及會員合同體操にて切り上げ、引續き亡會員追悼會、墓參等にてひと先づ落着いたし申候、何分凡て行事を室内に營むの計畫致し居たるに、室外ならでは判明せざるとのことゝて計畫と實地と相違致し一入困り申候、翌日早朝山波村を汽船にて發して能登原に向ひ、同地にて處女會開催折よく地方の休日にて人出多く非常に賑ひ申候、敬老會を開き先づ

▽神前にてお祈りを△

なし、神酒をいたゞき、神社境内にて式を行ひ、老人等を一段高き所に招し、先づ高砂、銚子にて處女代る〴〵老人に保命酒をすゝめ、引續き處女の手に成れる珠數袋、青年團より杖、といふ具合に記念品を贈呈し、有志よりは辨當折詰を贈りて老人を慰め、午後は老人の爲に學藝會を催うし、席上揮毫、對話、生花、茶、活人畫などの催しをなし、引續き運動會を催うし、體操、田植競爭、バスケットボールなどの催しを日の暮るゝまでに終り申し候。相當の計畫熟慮の下になしたることなれば、順序正しく特に處女の製作活動遺憾なく見物人をして眞に感服いたさせ申候。只惜むらくは最後の運動會の時には、已に

△フヰルム不足して▽

撮影出來ざりしことに有之候。

能登原は地方一般有志のもの二百余圓を負擔し更に十數日應援隊を組織して大に活動し、歸人會青年會、在郷軍人會等非常に援助相成候　(下略)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

全國處女會 婦人會 主婦會 一覽（其の三）

和歌山縣（續）

名稱	創立年月	會員數	會長氏名
海草縣			
和佐村處女會	大正、五、九	—	—
岡町村善行寺女性講	三九、二	九五	—
湊村懸雲婦人會	三、一	一〇〇	—
宮前村中島常盤婦人會	三、四	六二	—
里江町婦人會	六、九	二〇〇	—
內海村處女會	四、一〇	一二〇	校長
裏村婦人會	五、八	二四五	—
大崎村東部處女會	五、六	六三	—
同母の會	五、六	三六七	—
濱中村濱東教育同志會處女部	四、七	三一	—
有田郡			
箕島町婦人會	三、五	一二〇	副會長藤原 さよ
桃園婦人會	四二、八	二五〇	江尻 一枝
糸我村少女會	四二、二	七一	大浦 さく
田栖川婦女會	四二、一〇	一〇	上野上菊次郎
南啓小學校同窓會	四、二	一一二	栗田源一郎
田殿處女會	二・三	一五〇	小坂昇之助
御多村處女會	七、二	六一	小澤吉之助
糸野處女會	五、六	三〇	梅原文太郎
瀬井處女會	四、二	二四	松葉 荒松
三田同窓會	元、八	二三	服部 卯郎
久野原婦人會	四五、五	三二	森口 清一
沼婦人會	二、四	二〇	菅谷いもゑ
安濟村婦人會	二、八	九〇	前島由三郎
宮原村少女會	四三、五	—	伊藤 ゆい
石垣處女會	七、二	一二四	中家 靖
谷婦人會	二、一一	一二三	加登 こさ
楠本婦人會	六、七	一二七	前島 正美
下湯川處女會	六、一〇	三一	滑 德市

兵庫縣

名稱	創立年月	會員數	會長氏名
多紀郡			
篠山婦人會	不明	一一〇	石橋ます子
八上村婦人會		一〇六	小島 まさ
同窓會女子部		一八〇	藤井 雅二
大芋村處女會		七五	井口 濟茂
雲部村教育會婦女部會		三二一	安井晉次郎
畑村婦人會		一〇〇	日置 ちゑ
岡野村母姉會		二五〇	坂本諫次郎
南河內村婦人會		二六六	士井廣太郎
栗栖婦女修養會		一八	石田重三郎
草山村處女會		五〇	中澤 洋太
大山村教育會婦人部		五二〇	西尾 みつ
味間村婦人會		八八	波多野榮五郎
吹婦人會		一一七	同

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

	城南村處女會		二七	西羅岩太郎
	犬飼婦人會		二〇	前川 ツル
飾磨郡	余部村處女會	四、三	一五〇	芳澤 義一
	高岡村女教會	三〇、四	八五	東岡 淨俊
	花田村處女會	五、一一	二八	堀川 由松
	妻鹿村處女會	四三、八	三〇一	生尾 儉
	松原東ノ町處女會	元、十	二五	金岡 ひさ
	荒川村土山少女會	五、一	三五	高坂 龍諦
	同岡田處女會	十五、三	三二	三木甚三郎
加東郡	大部村處女會	三、二九	一八〇	宮崎 仲藏
揖保郡	越部村處女會	四、五、一	一〇六	菅原 貫治
	石海村處女會	五、五、一三	一〇六	坂田 三治
	勝原村處女會	五、七、四	七〇	進藤重治郎
	龍田村若東會	四、四、三	一三〇	矢野 藥治
	太市處女會	五、三、二十五	一〇四	森川 眷治
朝來郡	白梅會	四、一一	二四	—
	枚田岡處女會	七、五三〇	三〇	藤原惠やゑ
印南郡	米田處女會	四三、一	六〇	荻内 武次
	東神吉村會	四、一一	一四〇	神吉龜太郎
	西志方村會	四、四三	三五	鎌田 小一
	阿彌陀村會	三、八	二三六	富永 兼二
	大鹽村會	三七、二	三〇〇	田中仁一郎
神崎郡	報恩婦人會	二、六	六五	金井信太郎
	小畑婦人會	四一、一一	一六〇	勝山 全惠
	下片尾婦人會	四一、一一	四〇〇	中塚あさ子
	上瀬加婦人會	四五、一	二四〇	木村 岩藏
	香呂佛教婦人會	不詳	四〇	國岡 戀道
	寺崎婦人會	三五、五	五〇〇	上野繁太郎
	南小田婦人會	三五、五	三七	廣山德太郎
	上小田婦人會	四四、三	六〇	正城 さみ
	川上處女會	五、五	四〇	新谷 壽惠
有馬郡	山口村處女會	三二、一	九二	細木 喜作
揖辨郡	大泉原村處女會	三、五	六二	市川 直行
	大原村處女會	四二、一	五〇	出口 久明
	稲部村處女會	五、二	五三	南部 專藏
	神田村處女會	四二	一〇〇	辻 幸次郎
	久米村處女會	五、一一	八〇	藤谷 傳平
	大長村處女會	四二、八	五八	伊藤齊次郎
	梅戸井村處女會	四、一一	一九六	日沖德次郎
	石榑村處女會	四、一〇	一三八	高橋榮治郎
	丹生村處女會	未設	—	—
	治田村處女會	四二、八	七六	坂口太郎右衛門
	白瀬村處女會	五、一	九七	伊藤 俊一
	中里村處女會	三、二	三二	林 潔
	十社村處女會	四、八	一三五	川瀬助右衛門
	阿下喜村處女會	五、一	五八	稲垣 專八
	山郷村處女會	四二、一二	一〇〇	日下清太郎
	笠田村處女會	四、二	八八	水貝七良治
	七和村處女會	四四、一二	七九	南部 莞爾
	三里村處女會	四、一二	五五	水谷藤太郎
	東藤原村處女會	四、九	五一	宮木 承禪
	西藤原村處女會	二、一一	三〇	水谷 淺吉
	立田村處女會	四、四	四六	三輪榮十郎

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

〇編輯だより

〇朝夕ちよつと寒さを感ずるようになりました。田舎の姉妹はどりいれに忙しいでせう。漁村はいかゞ、早いもう年の暮が近づき、來年の暦の噂さも出ます、日記帳も賣りに出ます。

〇皆様の同情で處女の友も段々お友達がふえて來ますが、もつと〳〵誘ひ合つて下さい、お仲間が大勢と成ますすと仕事も出來ます、地方も都會も皆姉妹、處女の友が其の中に入つて握手をすゝめる役をしませう。

〇地方婦人會の出京見學は固より一人二人の娘さんの東京見物の時お宿をするように、中央部では中央會館をたてたうございます、是は皆様のお家です。どうぞ本部へ少しづゝは寄附を願へないでせうか。全國の會員より少しづゝいたゞけば其こそ記念すべきものが出來ます。

〇新年號に出します様に會訓の强く優しくまじめに働け、を募集します半紙をタテにして

強く優しくまじめに働け	住所氏名年

こういふ風にかいてよこして下さい、作文もたくさん送つて下さい見たまゝ思ふたまゝが名文です、作文の爲の作文は駄目です

〇記者は忙しい十二時一時までも寢ずにゐる時もあれば、夜明けの鐘の鳴るまでやつてゐる時もあります。皆様も勤勞してゐらつしやる、共にまじめに働きませう。

〇群馬縣新田郡鳥之郷婦人會員に申し上げます、旅行から歸られてお疲のところ御手紙ありがとう、(鍬もつことが輕くなりました)といつてよこして下すつたことは、何よりです、貴族院をみた婦人會員は多くありますまい。こんどは私もお村に參ります、泊めて下さい

〇處女文藝は次號に廻しました、たのしみにしてゐて下さい、

處女の友改正定價表

毎月一回一日發行

定價	一部	半年分	一年分
定價	拾五錢	八拾五錢	壹圓六拾五錢
郵税	五厘	不要	不要
合計	拾五錢五厘	八拾五錢	壹圓六拾五錢

廣告料	一頁	半頁
特別面	貳拾五圓	
普通面	拾五圓	九圓

注意

◎御註文は總て前金の事、前金盡きたる節は封紙に「前金切」と捺印して通知に代ふ◎御送金は振替貯金が最も便利なり◎郵券代用は一割增のこと
◎外國行は郵税實費を申受く

大正八年十月二十八日印刷納本
大正八年十一月一日發行

東京市本郷元町二丁目六十六番地
發行人 印刷人 田所梢猪

編輯人 天野藤男

東京市麴町區永田町一ノ十九
處女會中央部

東京市[illegible]町十二、三番地
印刷所 千代田印刷株式會社

東京市本郷區元町二ノ六六
處女の友發行所
電話小石川三一七四番
振替東京六一一九〇番

大賣捌 東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、至誠堂、上田屋、其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

第十四編第十一號
民新
十一月號
一箇年貳圓四拾錢

□思想の動搖に就て……澤柳博士
□戰後に於ける國民の覺悟……松井博士
□生活の改善……東京高師教授中島
□生活維新と憂國者……田子書記官
□富と人生……山下信義
□自治の精神と國運の伸暢……床次內務大臣
□公益と私益との調和……一木博士
□產業の發達と林業……鶴見山林局長
□農村社會教育振興策……佐上書記官
□外來思想の批判……深作文學士
□籾殼の利用法……小笠原技師
△自治法令の研究……平井良成
△田井產業組合……村田講師
△報德千話……井口丑二
□自治講習會の十日間……

發行所　東京市麴町區永田町一丁目　中央報德會　振替東京九七〇〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正八年十月二十八日印刷納本
大正八年十一月一日發行（毎月一回一日發行）

一部定價　金十五錢

東京市麹町區永田町一ノ一九
處女會中央部

東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所